

研究者情報

平成 28 年 度

金沢学院大学・金沢学院短期大学

目 次

◇金沢学院大学

学長(大学)	p. 1
副学長(大学)	p. 2
学長補佐(大学)	p. 4
学長(短大)	p. 5
副学長(短大)	p. 6
文学部	p. 8
経営情報学部	p. 21
芸術学部	p. 30
人間健康学部	p. 38
基礎教育機構	p. 51

◇金沢学院短期大学 p. 60

現代教養学科
食物栄養学科

◇教員索引

氏名(五十音順)	p. 69
--------------------	-------

金沢学院大学 学長

(Minoru Akiyama)

教授

秋山 稔

人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 日本文学概説 I・II 日本文学講読IV・XI 他
- ② 出身学校 : 慶應義塾大学
- ③ 学 位 : 博士(文学) 慶應義塾大学
- ④ 所属学会 : 日本近代文学会 昭和文学会 泉鏡花研究会 室生犀星学会
- ⑤ E-mail : akiyama@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『泉鏡花 転成する物語』(2014.4、梧桐書院) ◇「帰郷小説としての『縷紅新草』」(「昭和文学研究」64集、2012.3) ◇「自然主義と鏡花」(「解釈と鑑賞」2009.9) ◇「勝手口から戦場へー泉鏡花『勝手口』試論」(「日本近代文学」第七十九集、2008.11) ◇『室生犀星事典』(2008.9、鼎書房) ◇『新編 泉鏡花集』第1巻〈金沢一〉、第2巻〈同二〉、第9巻〈北陸〉(2003.10、2004.2、2004.4、岩波書店) ◇『徳田秋聲金沢シリーズ 郷里金沢』『同 挿話・町の踊り場』『同 感傷的の事』(2005.8、2005.12、2006.3、能登印刷出版部)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①泉鏡花・徳田秋聲を視点として近代文学史を再検討すること。

金沢学院大学 副学長

(Masahiro Ate)

教授 阿手 雅博 経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : 経営情報処理基礎 情報処理演習Ⅱ 基礎演習 演習
特論演習 問題解決システム研究 他
- ② 出身学校 : 富山大学大学院工学研究科
- ③ 学 位 : 博士(工学) 大阪大学
- ④ 所属学会 : 経営情報学会 オペレーションズリサーチ学会 日本鑄造
工学会
- ⑤ E-mail : ate@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「技術経営の中小製造業への適用」(金沢学院大学紀要 経営・経済・社会学編 第8号)
- ◇「意思決定と支援システム」(金沢学院大学紀要 経営・経済・社会学編 第4号)
- ◇「記述問題の自動評価を目指した教育支援システムによる Interactive Education」(情報教育方法研究 Vol.3 No.1,37)
- ◇「自然言語処理による欠陥対策現場情報の知識整理」(鑄造工学 Vol.75 No.3)
- ◇「スコア法による欠陥対策の意思決定支援システム」(鑄造工学 Vol.75 No.4,270)
- ◇Accumulation of the Knowledge by a Casting Defect Data Base : International Journal of Materials & Product Technology Vol.19 No.6 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①意思決定支援システム ②鑄造方案支援エキスパートシステム ③自然言語処理による技術文書の有効活用 ④尾張町活性化プロジェクト

金沢学院大学 副学長

(Tatsufumi Yamazaki)

教授 山崎 達文



- ① 担当科目 : 工芸史 工芸概論 美術と社会 文化財入門 博物館概論
博物館資料論 博物館資料保存論 博物館実習 I・II 他
- ② 出身学校 : 横浜国立大学 金沢美術工芸大学
- ③ 学 位 : 芸術学修士
- ④ 所属学会 : 漆工史学会 意匠学会 文化財保存修復学会
- ⑤ E-mail : yama@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『城下町金沢論集』共著(石川県・金沢市)2015 ◇『WATCH FACE DESIGN COMPETITION2014』
編著(経済産業者 JAPAN ブランド育成支援事業) ◇『金沢金箔伝統技術調査報告—製箔用手漉き紙に関する研究』(金沢市)2013 ◇「日本の金箔製造における澄打紙の研究」(金沢学院大学紀要文学美術編第10号)2012 ◇『工藝の再結晶』共著(紅ミュージアム)2011 ◇『金沢金箔伝統技術調査報告—縁付金箔に関する報告』(金沢市)2010 ◇『製箔用手漉き澄打紙復興への取り組み』石川県箔商工業協同組合 2009
◇『甦る江戸の化粧道具 板紅』共著(紅ミュージアム)2008 ◇『叢書・近代日本のデザイン明治編』共著(ゆまに書房)2007 ◇『週間人間国宝 43 工芸技術漆芸④』共著(朝日新聞社)2007 ◇『近代日本デザイン史』共著(美学出版)2006 ◇「金沢銅器会社研究一」(本学紀要第4号)2006 ◇『漆芸家小松芳光遺作集』編著(橋本確文堂)2005 ◇「輪島塗碗の加飾表現に関する一考察—昭和の見本碗をとおして」(同紀要第2号)2004 ◇「納富介次郎の目指したもの—工芸産業の育成振興にむけて」(同紀要第1号)2003

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①近代初頭以来、国策としての美術振興が従来からの工芸観に及ぼした作用とその展開 ②地方在来産業諸職活性化支援 ③美術表現における素材と技術の連関に関する研究

金沢学院大学 学長補佐

(Tomoyuki Nishikawa)

教授 西川 友之



- ① 担当科目 : 体育原理 体育史 スポーツ文化論 スポーツ法学 他
- ② 出身学校 : 東京教育大学大学院
- ③ 学 位 : 体育学修士
- ④ 所属学会 : 日本体育学会、日本バレーボール学会他
- ⑤ E-mail : nishikw@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇スキー教本 大修館書店 1987、◇バレーボール 100Q 入魂 日本文化出版 2005、◇FIVB COACHES MANUAL 2011 バレーボール・アンリミテッド 2011、◇改正ルール (2009-12 FIVB Rules of the game)について Coaching & Playing Volleyball 63号 2009、◇FIVBの次期ルール改正に向けた動向について Coaching & Playing Volleyball 65号 2009 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 地域社会とスポーツイベントの運営 ②地域社会とスポーツイベント ③競技規則 (バレーボール) と社会的ニーズ

金沢学院短期大学 学長

(Mieko Kawamura)

教授 川村 美笑子



- ① 担当科目 : ウェルネス栄養学実習 応用栄養学 他
- ② 出身学校 : 東北大学大学院農学研究科博士後期課程中途退学
- ③ 学 位 : 農学博士 (東北大学)
- ④ 所属学会 : 日本栄養学教育学会評議員、日本微量元素学会 他
- ⑤ E-mail : m-kawamura@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇Inter- and intra-individual variation of food and nutrient consumption in a rural Japanese population. *European Journal of Clinical Nutrition*. 52:781-785(1999)共著
◇Dietary habits and nutrient intake in non-alcoholic steatohepatitis. *Nutrition*. 23:46-52(2007)共著
◇Metabolic analysis of vanadate and effect on neurochemical behavior as a result of chronic oral administration of vanadate. *Trace Elements in Man and Animals*, NRC Research Press, Canada. 220-223(2008)共著
◇海洋深層水から精製した海水由来の新素材—トレハロース/ミネラル複合体の血漿マグネシウム回復および血糖低下作用—*Trace Nutrients Research*. 25:114-121(2008)共著
◇アミノ酸スケールによる慢性腎不全患者の低タンパク食の評価. *Trace Nutrients Research*. 27:97-102(2010)共著
◇Mg 欠乏食-甘味料溶液継続摂取がマウス脳内セロトニン濃度に及ぼす影響. *Trace Nutrients Research*. 30:58-63(2013)共著
◇食環境は脳機能にどのような変化を与えるか. *FOOD STYLE*. 21(8):42-48(2014)単著

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

子どもから高齢者まで、ライフステージを基本に、食や健康の課題を栄養保健学・栄養生理学の視点から地域の特性を踏まえて学問的に捉え直し、その成果を社会システムの中に位置づける研究、例えば「ライフサイクルと食の特徴」「生活習慣や生活環境が食や食物成分の代謝に及ぼす影響」「学校や職域、地域における、食育や食環境整備、健康づくり活動」「食事調査・評価・指導支援システムの開発と健康管理への応用」

金沢学院短期大学 副学長

(Kumiko Kouchi)

教授 河内 久美子



基礎演習 住宅設計 インテリアクラフト インテリア

- ① 担当科目 : ドローイング 機器利用プレゼンテーション演習 共生
社会実習 卒業研究 他
- ② 出身学校 : 奈良女子大学大学院家政学研究科修士課程
- ③ 学 位 : 家政学修士
- ④ 所属学会 : 日本家政学会 日本インテリア学会
- ⑤ E-mail : kouchi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「学生による授業アンケートの実施分析」(金沢学院短期大学 紀要第 14 号) ◇「子育て環境と色彩景観」(金沢学院短期大学 紀要第 7 号) ◇「地域生活文化と連携した教育方法改善に関する研究」(金沢学院短期大学 紀要第 5 号) ◇「The research of junior college's education in cooperation with indigenous industries I・II・III」(13th BIENNIAL ARAHE CONGRESS)) ◇設計作品①「氷見の家」氷見市木造一部鉄骨 2 階建(専用住宅)改築案 ②「T 邸」野々市町型枠補強 CB 造 3 階建(専用住宅)2002 年竣工 ③「小立野の家」金沢市型枠補強 CB 造 3 階建(専用住宅)1999 年竣工 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①短期大学における学習成果の査定手法(学内共同) ②自治体による子ども・子育て支援情報の Web 発信について ③金沢の生活文化を題材にした PBL のテーマ設定と指導法

◇金沢学院大学

- 文学部
- 経営情報学部
- 芸術学部
- 人間健康学部
- 基礎教育機構

金沢学院大学 文学部

学部長 水洞 幸夫

	教授	准教授	講師	助教
文学科	秋山 稔 *日	小林 淳一	大滝 宏一 *英	
	石崎 建治 *歴	薮 際子 *日	加来 奈奈 *歴	
	小嶋 芳孝 *歴	寺田 達也 *日	工藤 義信 *英	
	田邊 正彰	寺田 智美 *日	坂東 貴夫 *英	
	○水洞 幸夫 *日	中崎 崇志 *心	Riki Miyoshi *英	
	中島 彰史 *英	中村 晋也 *歴	森本 哲介 *心	
	馬場先恵子 *歴	前川 浩子 *心	Richard Grassi *英	
	見瀬 和雄 *歴			
	米澤 正雄			
	柳澤 良一 *日			

○：学科長

(五十音順)

*日 日本語日本文学専攻

*英 英語英米文学専攻

*歴 歴史学専攻

*心 心理学専攻

(Yukio Suido)

教授 **水洞 幸夫** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 地域と文学 日本文学演習VI・XII 地域連携プロジェクト
国語科教育法 他
- ② 出身学校 : 金沢大学
- ③ 学 位 : 文学修士
- ④ 所属学会 : 日本近代文学会
- ⑤ E-mail : suido@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「芥川龍之介『鼻』論」(『金沢学院大学紀要第9号』文学・美術・社会学編 2011年3月)
- ◇「芥川龍之介『羅生門』論—下人が盗人になる理由—」(『金沢大学国語国文34号』2009年3月)
- ◇「太宰治『家庭の幸福』論—ラジオ的な〈幸福〉を超えて—」(『太宰治研究16号』2008年6月)
- ◇「芥川龍之介『疑惑』試論—沈黙する「私」を超えるドラスター」(『金沢学院大学紀要第6号』文学・美術・社会学編 2008年3月)
- ◇「芥川龍之介『お富の貞操』試論—〈可哀さう〉の射程—」(『金沢学院大学紀要第4号』文学・美術編 2006年3月)
- ◇「芥川龍之介『六の宮の姫君』試論」(『金沢学院大学紀要第3号』文学・美術編 2005年3月) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

日本近代文学。特に大正期の散文作品を中心に、その享受史も考慮しつつ、作品の新しい〈読み〉をさぐる。

(Kenji Ishizaki)

教授 **石崎 建治** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 日本史概説I 古文書学演習I 日本史演習A(中世) 他
- ② 出身学校 : 早稲田大学
- ③ 学 位 : 文学修士(早稲田大学)
- ④ 所属学会 : 日本歴史学会 日本古文書学会 史学会
鎌倉遺文研究会 他
- ⑤ E-mail : ishizaki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「室町幕府徳政令発布時における礼銭礼物と分一銭の関係」(『古文書研究』第57号 2003年5月)
- ◇「織田信長『麟』字型花押の含意」(『日本歴史』第664号 2003年9月)
- ◇「本能寺の変と上杉景勝」(『日本歴史』第685号、2005年6月)
- ◇「永享初年における足利義教政権の構造と特質」(『金沢学院大学文学部紀要』第5集、2000年3月)
- ◇「中世東国社会における永楽通宝選好性の一要因」(『金沢学院大学紀要』文学・美術・社会学編第6号 2008年3月)
- ◇「『謙信公御書集』の史料的性格に関する一考察」(『金沢学院大学紀要』文学・美術・社会学編第8号 2010年3月)
- ◇「加賀藩士猪山直之日記(八)」(『金沢学院大学紀要』文学・美術・社会学編第12号 2014年3月)
- ◇『加賀藩御算用者猪山直之日記』(時鐘舎 2010年10月) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①日本中世政治史(特に室町後期から戦国・織豊にかけての政治史) ②中世文書の古文書学的研究 ③日本中世社会における貨幣流通

(Yoshitaka Kojima)

教授 **小嶋 芳孝** 人文学研究科担当



- 考古学概説Ⅰ・Ⅱ 考古学研究法Ⅰ・Ⅱ 古代学演習
- ① 担当科目 : 環日本海考古学 考古学演習Ⅰ 考古学実習Ⅰ・Ⅱ プレ卒論演習 卒業研究 アジア歴史文化特論 特論演習 他
- ② 出身学校 : 同志社大学文学部文化学科文化史学専攻
- ③ 学 位 : 文学士
- ④ 所属学会 : 石川考古学研究会 北海道考古学会 日本文化財科学会 日本考古学協会 日本中国考古学会 古代学研究会 他
- ⑤ E-mail : y-kojima@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『中国とロシア沿海地方における渤海の考古学的研究』金沢学院大学◇「日本海の島々と鞆鞆・渤海の交流」『境界の日本史』山川出版社 ◇「渤海の仏教遺跡」『日本と渤海の古代史』山川出版社 ◇「能登の半島世界」『人とモノと道と』岩波書店 ◇「図們江流域の渤海都城と瓦当」『東アジアの都城と渤海』(財)東洋文庫 ◇「日本海対岸世界との交通」『日本海域歴史大系第一巻』清文堂 ◇「環日本海交流史の様相」『北東アジア交流史研究』塙書房 ◇「古代日本の境界領域と能登」『古代日本の異文化交流』勉誠出版 ◇「渤海平地城の検討」(『扶桑(田村晃一先生喜寿記念論文集)』)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①古代東北アジアにおける地域社会の形成史に関する研究 ②渤海考古学の研究 ③日本海沿岸地域の交流史に関する研究 ④加賀・能登の古代史に関する研究

(Masaaki Tanabe)

教授 **田邊 正彰**



- ① 出身学校 : 信州大学
- ② 学 位 : 文学修士(龍谷大学)
- ③ 所属学会 : 日本哲学会 関西倫理学会 日本教師教育学会 日本シ
ョーペンハウアー協会(学会評議員) 他
- ④ E-mail : m-tanabe@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「3.11 の後に哲学することーゲオルク・ピヒトの『ここで、そして今』(第二巻)に寄せて」(『B ショーペンハウアー研究』第17号、2012年11月) ◇「歴史的現実世界をめぐる幾つかのミニマ・モラリアー3.11以後の思索と教育への責任ー」(金沢学院大学紀要)第10号、2012年3月 ◇「鈴木大拙の科学解義ー我々の時代の道標ー」(『金沢学院大学紀要』第9号、2011年3月) ◇『鈴木大拙と日本文化』(共著、朝文社、2010年6月) ◇「欧州高等教育圏と質保証」(『金沢学院大学紀要』第8号、2010年3月) ◇「「教職演習」の「教育実践演習」化の課題」(『金沢学院大学紀要』第7号2009年3月)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

教育人間学・哲学的人間学。西田幾多郎と京都学派の「歴史的現実性」をめぐる揺れ動きを研究テーマとしている。

(Ayahumi Nakajima)

教授 **中島 彰史** 人文学研究科担当



- 基礎英語 I・II 英語プレゼンテーション初級 I・II 英語学概論
① 担当科目 : II 英語学講読 I 英語音声学 I・II 卒業研究 他
② 出身学校 : 名古屋大学
③ 学 位 : 文学修士
④ 所属学会 : 日本言語学会 日本英語学会 日本認知言語学会
⑤ E-mail : nakajima@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「英語の句動詞における不変化詞の意味論」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第7号 2009年3月)◇「コーパスデータに基づく英語心理動詞の分析」(『金沢学院大学紀要 文学・美術編』第3号 2005年) ◇「英語における名詞転換動詞とその概念化」(『金沢学院大学文学部紀要』第4集 1999年)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

言語の形態構造や文法構造と意味・概念構造との間にいかなる関連性があるのかを類型論的に研究している。

(Keiko Babasaki)

教授 **馬場先 恵子** 人文学研究科担当



- 歴史都市論 地誌 日本史演習 C プレ卒論演習 スタディスキル
ゼミ I 地域連携プロジェクト I・II 都市美文化論 I・II
① 担当科目 : 金沢まち学特講 プレゼンテーション法 I・II 美術と社会
レポート・プレゼンテーション法 I・II 他
② 出身学校 : 大阪大学
③ 学 位 : 博士(学術)(金沢大学)
④ 所属学会 : 土木学会 日本都市計画学会 日本建築学会
⑤ E-mail : babasaki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『金澤町家』能登印刷(2015)◇「万葉集から読み取る越中の景観特性」土木史研究講演集 Vol. 34(2014)◇「金沢市における橋から見た惣構堀・用水の規模の変遷」土木史研究講演集 Vol. 30(2010)◇「金沢城下における町人の外出行動の空間特性」土木史研究講演集 Vol. 25(2006)◇「都市の個性としての歴史的町並み—建物正面意匠の地域性」金沢学院大学紀要第8号(2010)◇「伝統的住宅の地域的特徴—町家格子について」金沢学院大学紀要第7号(2009)◇「金沢城下の広見の起源と配置について」土木史研究講演集 Vol. 23(2003)◇『みち空間におけるアメニティ向上のための環境整備計画に関する研究』金沢大学博士論文(1995)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①風土・歴史的文脈を背景とした都市環境整備方策の検討 ②文化遺産の保存と活用施策の検討

(Kazuo Mise)

教授 **見瀬 和雄** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 日本史概説Ⅱ 古文書学演習Ⅱ 日本史演習B 他
- ② 出身学校 : 金沢大学 國學院大学大学院文学研究科
- ③ 学 位 : 博士(歴史学)(國學院大學)
- ④ 所属学会 : 日本史研究会 国史学会(評議員) 歴史科学協議会 北陸史学会(常任委員) 歴史学研究会 他
- ⑤ E-mail : k-mise@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「近世統一政権の成立と越中古国府勝興寺」(『金沢学院大学紀要』文学・美術・社会学編11号、2013年) ◇「『草莽危言』にみる中井竹山の朝鮮使節論」(『金沢学院大学紀要文学・美術・社会学編』第10号、2012年) ◇「近世能登の諸生産と海運—米・塩・素麵・炭—」(石川の歴史遺産セミナー講演録第12~14回『能登』石川県立歴史博物館、2012年) ◇「関ヶ原合戦前夜の北陸と前田利長—慶長五年九月五日付前田利長書状—」(佐藤孝之編『古文書の語る地方史』天野出版工房、2010年) ◇「草莽の志士小川幸三の加賀藩出仕」(『地域社会の史料と人物』北國新聞社、2009年) ◇『利家・利長・利常—前田三代の人と政治—』(単著)(北國新聞社、2002年) ◇『越中・能登と北陸街道』(共著)(吉川弘文館、2002年) ◇『幕藩制市場と藩財政』(単著)(巖南堂書店、1998年)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①近世初期北陸政治史の研究 ②前田利長の伝記的研究 ③近世日本海海運史の研究 ④加賀藩家臣団の研究

(Masao Yonezawa)

教授 **米澤 正雄**



- ① 担当科目 : 教育原理 教育制度論 教育実地研究 教育実習Ⅰ・Ⅱ
教職実践演習 スタディスキルズゼミⅠ
- ② 出身学校 : 新潟大学
- ③ 学 位 : 教育学修士
- ④ 所属学会 : 教育哲学学会 日本デュース学会 日本教育学会 教育史学会
- ⑤ E-mail : masao-y@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇石川照子、高橋裕子編著『ジェンダー史叢書2 家族の教育』明石書店、2011年。◇高橋勝、新井保幸編『教育哲学の再構築』学文社、2006年。◇米澤正雄編『中島義一著作集2 教師と母の為の哲学』紫峰図書、2002年。◇米澤正雄編『中島義一著作集3 こども認識論 林檎の味』紫峰図書、2003年。◇米澤正雄「篠原助市は何故に自らの教育規定を転換したのか?—『教育の本質と教育学』(1930)における「理論的教育学」の構想と『理論的教育学』(1929)の論述内容とのズレに着目して—」『東洋大学文学部紀要 第69集 教育科学編XLI 2015年度』2016年3月 pp.43-54 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①ジョン・デュースの教育思想・実験学校での教育実践とジェーン・アダムズのセツルメント論・事業との解明②デュース教育思想の日本における受容(特に、篠原助市の教育学理論の形成と展開)の解明③中島義一の「自由教育」論と『子ども哲学叢書』(全七編)の形成と理論構造の解明

(Ryōichi Yanagisawa)

教授 柳澤 良一 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 漢文学講読Ⅰ・Ⅱ 国語科教育法Ⅰ 生徒・進路指導論
特別活動 他
- ② 出身学校 : 金沢大学
- ③ 学 位 : 文学修士
- ④ 所属学会 : 和漢比較文学会 (常任理事) 和歌文学会 中古文学会
日本中国学会 他
- ⑤ E-mail : yanagi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇『本朝麗藻総索引』(勉誠社・平成5年) ◇『続撰和漢朗詠集とその研究』(和泉書院・平成13年)
- ◇『石川県立図書館蔵 川口文庫善本影印叢書』三巻(勉誠出版・平成20~22年) ◇『新撰朗詠集全注釈』
平成23年) ◇『和漢朗詠集／新撰朗詠集』(共著、明治書院・平成23年)
- ◇「平安時代寛弘期の漢詩の作り方について」(國語と國文學・平成26年)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

上代から中世までの日本漢文学の研究及び和漢比較文学

(Junichi Kobayashi)

准教授 小林 淳一



- 教職論 教職実践演習(栄養教諭) 教育課程論 生徒・進路
① 担当科目 : 指導論 生涯学習概論 英語ⅠB・ⅡB プロジェクトワーク コミュニケー
ション プレゼンテーション演習Ⅰ 地域連携プロジェクトⅠ・Ⅱ 他
- ② 出身学校 : 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究所
- ③ 学 位 : 博士(学校教育学)
- ④ 所属学会 : 日本教師教育学会 日本教育経営学会 日本カリキュラ
ム学会 日本学校教育学会 日本教育メディア学会 他
- ⑤ E-mail : kobayasi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇『免許制度改革の現状と養成段階での学生の学び』日本学校教育学会『グローバル時代の学校教育』三
恵社、2013. 【博士学位論文】◇「教員養成系大学における学生の職業選択意識の形成研究－教職経験と
教職決定過程における葛藤の解明－」、兵庫教育大学大学院連合、2010. ◇「わが国の教員養成における
理論知と実践知の関係構造に関する考察－教育職員免許法の制度原理と運用方法に着目して－」日本学校
教育学会◇『学校教育の「理論値」と「実践知」－その現状と新たな関係性の探求－』教育開発研究所、
2008. 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

教員養成、学校教育、フィールドワーク

(Kiwako Shitomi)

准教授 **蒨 際子** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 日本語表現法(言語表現法) キャリア・デザインⅠ・Ⅱ 児童文学 (日本文学講読) 日本文学演習Ⅴ・Ⅵ 卒業論文 他
- ② 出身学校 : お茶の水女子大学
- ③ 学 位 : 文学修士
- ④ 所属学会 : 日本近代文学会 日本文学協会 お茶の水女子大学国語国文学会
- ⑤ E-mail : kiwako@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「水芦光子のミステリー小説—『贗』・『水の花火—加賀藩噴水考—』の周辺—」(『金沢学院大学文学部紀要文学・美術・社会学編』第11号2013年3月) ◇「宇野浩二の大患前兆期—「円本もれ事件」をめぐって—」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第10号2012年3月) ◇「一つのマリリン理解—曾野綾子『砂糖菓子が壊れるとき』」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第8号2010年3月) ◇「いかにして憎悪を消すか—曾野綾子『哀歌』」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第5号2007年3月) ◇「曾野綾子の転換—いわゆる『受容の時代』の一面—」(『金沢学院大学紀要 文学・美術編』第4号2006年3月) ◇『日本女性文学大事典』(日本図書センター2006年1月 共著) ◇『日本現代小説大事典』(明治書院2004年7月 共著) ◇「同じ二つの顔—宇野浩二『高い山から』—」(淵叢の会『淵叢』第10号2001年8月) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①宇野浩二を視座とした日本文学研究 ②曾野綾子研究 ③水芦光子研究

(Tatsuya Terada)

准教授 **寺田 達也**



- ① 担当科目 : 国語基礎Ⅰ・Ⅱ 文学Ⅰ 日本文学史Ⅲ 日本文学講読Ⅲ 日本文学演習Ⅲ・Ⅸ 日本語表現Ⅰ・Ⅱ 卒業論文
- ② 出身学校 : 東京大学
- ③ 学 位 : 文学修士
- ④ 所属学会 : 日本近代文学会 日本文学協会 東京大学国語国文学会
- ⑤ E-mail : terada@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「新編浮雲」(『掘り出しものカタログ2 青春×小説』明治書院2009年2月) ◇二葉亭四迷『其面影』論—《シムボリズム》の拒絶—(『国語と国文学』75巻1号1998年1月) ◇習作「長編小説 無間奈落」論(『太宰治研究』10 和泉書院2002年6月) ◇新現代文『学習指導の研究』単元「近代の文章」<「たけくらべ」「金色夜叉」>(筑摩書房2004年3月) ◇川端康成「花のワルツ」試論—川端の舞踊評論の批評性と併せて—(『金沢学院大学紀要第3号』文学・美術編2005年3月) ◇「沢木欣一」(『展望 現代の詩歌 俳句Ⅲ』明治書院2007年7月) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

二葉亭四迷を中心とする明治文学、日本近代文学。また文学とその他の諸学問・諸芸術、歴史、社会との関係を検討し、外部から「文学」を捉え直すこと。

(Tomomi Terada)

准教授 **寺田 智美** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 日本語学概説Ⅰ・Ⅱ 日本語学演習Ⅰ・Ⅱ 日本語教育学Ⅰ・Ⅱ 日本語文法Ⅰ・Ⅱ 日本語教授法Ⅰ・Ⅱ 他
- ② 出身学校 : 早稲田大学
- ③ 学 位 : 修士(教育学)(早稲田大学)
- ④ 所属学会 : 日本語学会 社会言語科学会 日本文体論学会 日本語教育学会 他
- ⑤ E-mail : teradato@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『新明解類語辞典』(執筆協力、三省堂、2015.8) ◇「代名詞の史的変遷」(『品詞別学校文法講座 第2巻 名詞・代名詞』、明治書院、2014.2) ◇『三省堂国語辞典 第七版』(執筆協力、三省堂、2013.12) ◇『『厚生新編』翻刻とノート(1)』「金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編」第10号(2012.3) ◇「高校留学生に対する日本語教育の問題と課題」「金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編」第9号(2011.3) ◇「〈日本事情〉教材に描かれる〈日本〉」「金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編」第8号(2010.3) ◇「翻刻『明治浮世風呂(二)』」「金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編」第6号(2008.3) ◇「夏目漱石の小説にみえる「相対女性語」の考察」(「紀要」16 早稲田大学日本語研究教育センター 2003.5) ◇「早稲田大学蔵『助詞考』二種の比較考察」(「早稲田大学図書館紀要」50、2003.3) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

近代日本語、言語文化教育

(Takashi Nakazaki)

准教授 **中崎 崇志**



- ① 担当科目 : 心理学概論A 学習心理学 社会心理学 心理学統計法Ⅱ 心理学実験(実験法) 実験行動心理学演習 他
- ② 出身学校 : 金沢大学社会環境科学研究科地域社会環境学専攻
- ③ 学 位 : 博士(文学)(金沢大学)
- ④ 所属学会 : 日本心理学会 日本動物心理学会 北陸心理学会 教育システム情報学会
- ⑤ E-mail : nakazaki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「意思決定過程研究へのオペラント変動性の視点の導入」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第9号 2011年) ◇「変動性研究の新しい方向性を探る:創造性,意思決定,動機づけとの関連」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第8号 2009年) ◇「行動変動性研究の展開と問題点」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第5号 2007年) ◇「学生支援推進プログラム 2009-2011 2011年度報告」(共著『金沢学院大学紀要 経営・経済・情報科学・自然科学編』第10号 2012) ◇「創造的学習モデルと学内創造性能力比較」(共著『金沢学院大学紀要 経営・経済・情報科学・自然科学編』第11号 2013) ◇「オペラント変動性をめぐる諸問題:研究の論点の展開」(『動物心理学研究』第50巻 第1号 2000年) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 習得済みの行動の遂行中に起こるエラーとその原因の分析 ② 同じ目的のために、行動のバリエーションをどれくらい持てるか ③ 注意の配分と、情報処理および行動調整の関係

(Shinya Nakamura)

准教授 **中村 晋也**



保存科学概説Ⅰ・Ⅱ 保存科学演習A・B 考古学と自然科学

- ① 担当科目 : 学 保存科学特殊講義 埋蔵文化財の保護と活用 卒業研究
キャリアデザインⅠ・Ⅱ 他
- ② 出身学校 : 奈良大学文学部文化財学科
- ③ 学 位 : 文学士
- ④ 所属学会 : 日本文化財科学会 文化財保存修復学会 (理事)
- ⑤ E-mail : nakamura@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇能登半島地震における復興支援活動-被災資料の調査・修復から復興へ-(『文化財の保存と修復-災害から文化財をまもる-』2012年) ◇定林寺所蔵「伝熊来左将監画像」の自然科学的調査
◇二本榎遺跡出土ガラス資料の自然科学的調査◇トレハロースを使用した真空凍結乾燥法による出土木材の保存処理研究

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①考古資料(ガラス、青銅製品など)の材質・技法に関する研究②出土木製品の保存処理に関する研究③文化財の防災・減災に関する研究

(Hiroko Maekawa)

准教授 **前川 浩子**



- ① 担当科目 : キャリアデザインⅠ・Ⅱ 心理学概論 発達心理学 心理学実習(調査法) 卒業研究 心理学統計法Ⅰ 情報処理演習Ⅰ 他
- ② 出身学校 : 慶應義塾大学
- ③ 学 位 : 博士(教育学)
- ④ 所属学会 : 日本心理学会 日本教育心理学会 日本発達心理学会
日本パーソナリティ心理学会 日本双生児研究学会 他
- ⑤ E-mail : maekawa@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇対人関係から見る摂食障害(安藤 寿康・鹿毛 雅治(編著)教育心理学『教育の科学的解明をめざして』慶應義塾大学出版会2013年)

◇体重や体型へのこだわりに影響を及ぼす要因の検討——パーソナリティと社会的要因が出会うとき(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第11号, 39-48.2013年)

◇子ども期の仲間関係における対人関係能力の発達——親による双生児きょうだいの育て方と子どもの友達づきあいの観点から(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第9号, 63-70.2012年)

他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

子どもの社会性の発達に関する研究(きょうだい関係を中心として)
対人関係療法を心理教育に活かすアプローチ、摂食障害に関する研究

(Koichi Otaki)

講師 **大滝 宏一** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 基礎英語 I・II 英語プレゼンテーション (初級) I・II 他
- ② 出身学校 : 慶應義塾大学・コネチカット大学
- ③ 学 位 : Ph.D. in Linguistics (University of Connecticut)
- ④ 所属学会 : 日本言語学会
- ⑤ E-mail : otaki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

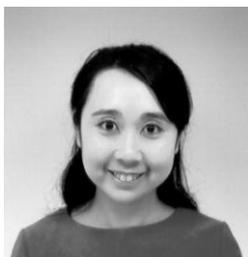
- ◇ 「The acquisition of word order and its constraints in Kaqchikel: A preliminary study」 (共著、『Selected Proceedings of the 5th Conference on Generative Approaches to Language Acquisition North America』、2014年)
- ◇ 「The Parameter of Argument Ellipsis: The view from Kaqchikel」 (共著、『MIT Working Papers on Endangered and Less Familiar Languages 8』、2013年) ◇ 「Quantificational null objects in child Japanese」 (共著、『Proceedings of the Fifth Formal Approaches to Japanese Linguistics』、2012年) ◇ 「Argument Ellipsis arising from non-fusional case morphology」 (『Online Proceedings of GLOW in Asia Workshop for Young Scholars 2011』、2012年) ◇ 「Noun Raising in child English」 (『Selected Proceedings of the 4th Conference on Generative Approaches to Language Acquisition North America』、2011年) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

「人間が話す言語にはどのような共通の基盤があるのか、一つ一つの言語はどのように異なっているのか、子どもはどのように言語を獲得するのか」といった問題を、主に英語と日本語に焦点を当てて研究しています。

(Nana Kaku)

講師 **加来 奈奈**



- ① 担当科目 : 史学概論 西洋史概説 I・II 西洋史文献講読 I・II 西洋政治史 西洋史演習 西洋史特殊講義 プレ卒論 卒業研究
- ② 出身学校 : 奈良女子大学
- ③ 学 位 : 博士(文学)
- ④ 所属学会 : 日本西洋史学会 西洋史世学会 ハプスブルク研究会
ブルゴーニュ公国史研究会 ベルギー研究会 他
- ⑤ E-mail : kaku@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇ 「ブルゴーニュ・ハプスブルク期のネーデルラント貴族-フランスとの境界をめぐる問題とハプスブルクの平和条約での役割」(藤井美男編『ブルゴーニュ国家の形成と変容—権力・制度・文化』九州大学出版会 2016年) ◇ 「ネーデルラントの統一と分裂」(大津留厚・水野博子・河野淳・岩崎周一編『ハプスブルク史研究入門—歴史のラビリンスへの招待』昭和堂、2013年) ◇ 「16世紀前半ネーデルラントの統一と涉外活動—1529年カンブレ平和条約履行におけるネーデルラント使節ジャン・ド・ソーの機能」(岩本和子・石部尚登編『「ベルギー」とは何か?—アイデンティティの多層性—』松籟社、2013年) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

近世のネーデルラント(現在のベネルクスに相当)の政治外交史。16世紀前半のハプスブルク家とフランス王家との戦いの中で、ハプスブルク支配下のネーデルラントから派遣される使節が、ヨーロッパの平和構築の際に果たす役割を研究している。

(Yoshinobu Kudo)

講師 **工藤 義信** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 英米文学概論Ⅱ 英米文学講読Ⅱ 英米文学演習Ⅰ 他
- ② 出身学校 : 慶応義塾大学・University of York
- ③ 学 位 : 修士(文学)、修士(MA in Medieval Literatures)
- ④ 所属学会 : 日本英文学会・日本中世英語英文学会・西洋中世学会
- ⑤ E-mail : y-kudo@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇ ‘Chaucer’ s *Second Nun’ s Tale* and the Problem of Lay and Religious Self-Formation’, 『藝文研究』 (慶應義塾大学藝文学会), 106 (2014), 1-16 ; ◇ ‘Shrewd Negotiation in the Guise of *Gentilesse* in Chaucer’ s *Franklin’ s Tale*’, *Poetica: An International Journal of Linguistic-Literary Studies* (雄松堂), 77 (2012), 27-46 ; ◇ ‘The Complex Personality of Chaucer’ s Reeve and the Problems of Subjectivity Represented in his *Tale*’, 『藝文研究』, 102 (2012), 1-20 ; ◇ ‘Undefined Values of the Merchant Class in Chaucer’ s *Shipman’ s Tale*’, *Colloquia* (慶應義塾大学大学院文学研究科英米文学専攻『コロキア』同人), 31 (2010), 17-34

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

14世紀英詩人ジェフリー・チョーサーの『カンタベリー物語』を作品成立当時の社会史的な文脈から読み解く研究を進めています。14世紀・15世紀イングランドの文学と社会との関係や、階級意識、道徳意識の問題に関心を持っています。

(Takao Bando)

講師 **坂東 貴夫** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 基礎英語Ⅰ・Ⅱ 英語プレゼンテーション初級Ⅰ・Ⅱ 言語習得研究Ⅱ 英語資格試験対策Ⅰ・Ⅱ 応用英語研究 他
- ② 出身学校 : 名古屋大学
- ③ 学 位 : 博士(学術)
- ④ 所属学会 : 外国語教育メディア学会、大学英語教育学会、全国英語教育学会
- ⑤ E-mail : bando@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇ “The Influence of Verb Subcategorization Information and the Complementizer *that* on Sentence Processing by Japanese Learners of English as a Foreign Language” (*JACET Bulletin*, No. 55, 2012) ◇ 「英文完成課題による動詞下位範疇化情報に関する調査—D0バイアスとSCバイアスの発達的变化—」(『ククロス:名古屋大学国際コミュニケーション論集』第10号 2013年) ◇ 「視線計測装置を用いた暗示的文法知識の習得困難性の測定—処理の「即時性」に着目して—」(『外国語教育メディア学会第52回全国研究大会予稿集』 2012年)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

第二言語文処理。読解時間の測定等を用いた実証的研究により、英語学習者による英文の理解過程について研究している。

(Riki Miyoshi)

講師 **Riki Miyoshi**



- ① 担当科目 : English Communication I・II English Presentation I・II
II 英米文学概論 I 英米文学講読 I・II 他
- ② 出身学校 : 慶応義塾大学 Oxford University
- ③ 学 位 : 慶応義塾大学(BA, MA) D.Phil Candidate(Oxford University)
- ④ 所属学会 : 日本英文学会 日本ジョンソン協会
- ⑤ E-mail : miyoshi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇“‘Y’are welcome to the downfall of the Stage’: Charles Killigrew and the Demise of the King’s Company, 1677-1682”. *Poetica: An International Journal of Linguistic-Literary Studies* 84 (2016): 25-44;◇ “‘We have this day, expell’d our Men the Stage’: Dating the Prologue and Epilogue of *The Parson’s Wedding*”. *Early Theatre* 18.2 (2015): 119-123;◇“The Old Commoner: Matthew Medbourne’s Tract of 1673”. *Notes and Queries* 62.2 (2015): 263-265;◇“An Unpublished Document relating to the Restoration Actor Michael Mohun”. *Notes and Queries* 62.2 (2015): 265-266;◇“Samuel Sandford and Colley Cibber: Two Players’ Acting Techniques and the Rise and Fall of Restoration Villain Tragedy on the London Stage from the 1670s to the 1730s”. *Theatre Notebook* 68.3 (2014): 136-152 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他 王政復古期と18世紀のイギリス文学・演劇

(Yoshiyuki Morimoto)

講師 **森本 哲介**



- ① 担当科目 : 臨床心理学 心理検査法 心理学実習 臨床心理学演習 I・II
II 卒業研究 スタディスキルズゼミ I
- ② 出身学校 : 立正大学
- ③ 学 位 : 博士(心理学)
- ④ 所属学会 : 日本心理臨床学会 日本教育心理学会 日本カウンセリ
ング学会 日本パーソナリティ心理学会 他
- ⑤ E-mail : yoshi-m@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇自己形成支援プログラムの有用性—高校生女子を対象とした強みの活用による介入—(教育心理学研究、63巻、181-191、2015年)

◇「強み(Strengths)」を活用する介入が大学1年生の自己形成意識に与える効果(学校メンタルヘルス、17巻、39-49、2014年)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他 ストレングス(強み)を活かした心理学的介入法の研究 青年期の心理的成長の支援に関する研究

(Richard Grassi)

講師

Richard Grassi

English Communication I・II English Writing Japanese



- ① 担当科目 : Culture through English World Culture through English 他
- ② 出身学校 : Humanities University
- ③ 学 位 : 人文学博士
- ④ 所属学会 :
- ⑤ E-mail : grassi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

English Language textbook- “Shift the Focus” “Felicity 2” “Felicity 1”

Humanities books- “Sketches of the Cotswolds” “A Scribbled Response”

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

“Let’s Eat Bugs” “Purpley-Pink House” (series of five children’s books)

“Goobee Da Loon” (series of three children’s books) “The ART of Presentation: Japanese Teacher Training Workshop”, Kanazawa

金沢学院大学 経営情報学部

学部長 田中 晴人

	教授	准教授	講師	助教
経営情報学科	阿手 雅博 石川 温 井手 秀樹 奥井めぐみ 桑野 裕昭 ○高橋 啓 竹村 裕樹 田中 晴人 根本 博 森 浩一	大野 尚弘 小谷 学 酒井 亨 福田 裕一	深堀遼太郎 福本 俊樹 米澤 順一	

○：学科長

(五十音順)

(Haruto Tanaka)

教授 **田中 晴人** 経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : 経営学基礎 経営管理論 ビジネス戦略 基礎演習 演習
他
- ② 出身学校 : 金沢大学大学院
- ③ 学 位 : 経済学修士
- ④ 所属学会 : 日本経営学会 組織学会 実践経営学会
- ⑤ E-mail : mtanaka@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「経営資源の諸概念と『アクティブな経営能力』について」(金沢学院大学紀要第10号)
- ◇「資源ベース・アプローチの意義と問題点」(金沢学院大学紀要第9号)
- ◇「経営戦略論における経営資源の問題について」(金沢学院大学紀要第7号)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他 経営戦略論と経営資源に関する研究

(Atushi Ishikawa)

教授 **石川 温** 経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : コンピュータ活用演習 情報処理演習 インターネット
活用演習 情報処理基礎演習
- ② 出身学校 : 大阪大学大学院
- ③ 学 位 : 博士(理学)
- ④ 所属学会 : 日本物理学会
- ⑤ E-mail : ishikawa@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇The relation between firm age distributions and the decay rate of firm activities in the United States and Japan:
IEEE International Conference on Big Data (2015) 2726 - 2731.
- ◇Firm Age Distributions and the Decay Rate of Firm Activities:
Proceedings of the International Conference on Social Modeling and Simulation, plus Econophysics Colloquium 2014 (2015) 187-194.
- ◇Are firms that are awarded more patents more productive ?:
Econophysics and Data Driven Modelling of Market Dynamics (Springer, 2015) 129-142.

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他 経済物理学

(Hideki Ide)

教授 **井手 秀樹** 経営情報学研究科担当



- ① 担当科目 : 経営情報学特講(産業組織論) 経営情報学特講(公益事業論)
- ② 出身学校 : 神戸大学大学院博士課程単位取得退学
- ③ 学位 : 経営学修士
- ④ 所属学会 : 公益事業学会 日本経済政策学会 国際公共経済学会
日本経済学会
- ⑤ E-mail : ide@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「日本郵政—JAPAN POST」2015年 東京経済新報社
- ◇「次世代のエコカー『天然ガス自動車』—ポストフクシマの選択」2013年エネルギーフォーラム社
- ◇「郵政上場後の課題」2015年11月日本経済新聞社「経済教室」
- ◇「電力・ガスシステム改革と課題」石油学会『ペトロテック』2016年2月
- ◇「タクシー事業における規制緩和から再規制」『三田商学研究』2012年12月

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①電力・ガス自由化②競争政策と独占禁止法

(Megumi Okui)

教授 **奥井 めぐみ** 経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : 経済学の基礎 ミクロ経済学 マクロ経済学 経営情報学特講
(北國銀行寄附講座) 他
- ② 出身学校 : 大阪大学
- ③ 学位 : 国際公共政策博士
- ④ 所属学会 : 日本経済学会 日本金融学会
- ⑤ E-mail : m-okui@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「集計データからみる昇進インセンティブ」金沢学院大学紀要第14号、2016年
- ◇「平均昇進スピードが女性の昇進に与える影響」金沢学院大学紀要第13号、2015年(共著)
- ◇「専門職の都道府県間賃金格差に関する研究—男性大学教授と男性医師の都道府県別集計データを利用して—」金沢学院大学紀要第12号、2014年

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

日本企業の管理職昇進システムとやる気に関する実証分析

(Hiroaki Kuwano)

教授 **桑野 裕昭** 経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : ビジネス・シミュレーション データ解析 データベース論 I 他
- ② 出身学校 : 金沢大学大学院
- ③ 学 位 : 博士(工学) 金沢大学
- ④ 所属学会 : 日本オペレーションズ・リサーチ学会 日本数学会 他
- ⑤ E-mail : kuwano@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇ファジィ集合値写像の導写像について、「不確実性の下で数理モデルとその周辺」1939, pp. 209-214, 2016(web only, to be published)
- ◇プロジェクト・リスクにおける汎用的フレームワークについて、「不確実性の下で数理モデルとその周辺」RIMS 講究録 1939, pp. 162-171, 2016(web only, to be published)
- ◇プロジェクト・リスク・マネジメントにおける遅延時間に関する一考察, 「不確実性の下での数理的意思決定の理論と応用」RIMS 講究録 1912, pp. 112-120, 2015
- ◇A gene ontology-based microarray gene expression data analysis for diagnosing pseudomyxoma peritonei, 2014 IEEE 7th International Workshop on Computational Intelligence and Applications, pp. 83-88, 2014
- ◇ファジィ集合列の極限について, 「確率的環境下での意思決定解析」RIMS 講究録 1864, pp. 175-180, 2014
- ◇ファジィ集合値写像の極限について, 「決定過程に関わる数理モデルの新たな展開と応用」RIMS 講究録 1857, pp. 69-76, 2014

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①人間の曖昧な認識に基づく情報環境での意思決定 ②意思決定にかかわる諸問題のモデル化とその分析 ③プロジェクト・リスク・マネジメントの数理的解析

(Hiroshi Takahashi)

教授 **高橋 啓** 経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : 財務管理 I・II 経営分析 国際経営 ビジネスマナー 基礎演習 演習 他
- ② 出身学校 : 東北大学 法政大学大学院公共政策研究科
- ③ 学 位 : 博士(公共政策学)
- ④ 所属学会 : 日本公共政策学会 医療経済学会 日本医療経営学会
日本介護経営学会 医療マネジメント学会
- ⑤ E-mail : h-takaha@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「繊維産業政策の変遷と基礎自治体による産業政策の可能性」『サステイナブルな地域と経情の構想』第3章, 2016年2月, 御茶ノ水書房
- ◇「公立病院のマネジメントに関する考察」2015年3月『金沢学院大学紀要』No. 13, p47-66
- ◇「PFI/PPP事業の新たな展開とその課題」2014年3月『金沢学院大学紀要』No. 12, p93-102
- ◇「地域医療行政における自治体-公立病院間関係に関する考察」2013年10月『法政大学大学院紀要』No. 71, p257-277
- ◇「繊維産業政策の変遷」2013年2月『大原社会問題研究所雑誌』No. 652, p3-14

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①地域経営 ②公立病院のガバナンス

(Hiroki Takemura)

教授 **竹村 裕樹**



- ① 担当科目 : 都市計画論Ⅰ・Ⅱ 都市経営と経済Ⅰ・Ⅱ 観光と地方創
生Ⅰ・Ⅱ 地域課題研究 金沢まち学 他
- ② 出身学校 : 東京大学
- ③ 学 位 : 工学士
- ④ 所属学会 : 日本都市計画学会 土木学会 日本技術士会 都市環境
デザイン会議 金沢日仏協会 他
- ⑤ E-mail : hrk-take@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇石川県都市計画マスタープラン策定
- ◇石川県景観総合条例制定・指針策定
- ◇香林坊地区市街地再開発事業
- ◇金沢外環状道路計画及び事業
- ◇金沢副都心整備計画及び事業
- ◇金沢都市圏都市交通計画（P&R・新交通システム）策定 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①北陸新幹線金沢開業を活かした地域活性化方策
- ②人口減少・少子高齢化時代の都市計画
- ③産学官連携や大学間交流によるまちづくりの実践
- ④歴史と文化伝統を活かした風格のあるまちづくり

(Hiroshi Nemoto)

教授 **根本 博** 経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : 中小企業論 日本経済論 経済学Ⅰ・Ⅱ 経済学基礎 他
- ② 出身学校 : 東京大学
- ③ 学 位 : 経済学士
- ④ 所属学会 : 景気循環学会 日本NPO学会
- ⑤ E-mail : nemoto@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇編著：『ボランティア経済と企業』（日本評論社 2002年）
- ◇単著：『人にやさしい経済学』（北國新聞社 2015年）
- ◇論文：「経済社会の進歩発展に向けた異分野・異業種間の連携について」「少子高齢化における地域経済の課題」2015年、「拡大するボランティア経済学の領域」（2014）、「民意とは何かー政治の論理と経済学の論理」（2013）、「少子高齢社会における先送り財政のリスクについて」（2012）、「政府の論理と非営利活動の役割」（2011）、「争点としての格差問題と財政規律のあり方」（2007）、「民間資金の活用による都市・文化の再生」（2006）、「マクロ経済バランスの改善を通じた日本経済の再生」（2004）、「高度成長の評価」（1975）など。
- ◇平成3・4年『地域経済レポート』（経済企画庁、1991、1992年）の執筆責任者。

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① ボランティア経済の役割 ②日本経済の現状と課題 ③地域経済の現状と課題

(Kouichi Mori)

教授 **森 浩一** 経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : 税務会計 基礎演習 演習
- ② 出身学校 : 金沢大学
- ③ 学 位 : 学士 (経済学)
- ④ 所属学会 : 日本租税訴訟学会
- ⑤ E-mail : k-mori@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇ 「国税収納金整理資金法の解説 (一、二、三)」(会計と監査 1983 年)
- ◇ 「税務行政と国家賠償」(税大ジャーナル 2011 年)
- ◇ 「租税回避への対応」(金沢学院大学紀要 第 12 号 2014 年)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①消費税法
- ②国税通則法
- ③所得税法

(Takahiro Oono)

准教授 **大野 尚弘** 経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : マーケティング論 流通論 消費者行動
- ② 出身学校 : 神戸大学大学院経営学研究科
- ③ 学 位 : 商学修士
- ④ 所属学会 : 日本商業学会 日本消費者行動研究学会 現代経営学会
- ⑤ E-mail : oono@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇ 「プライベートブランド商品の展開と小売改革の方向性」高嶋克義編『小売革新』千倉書房、2010 年
- ◇ 『PB 戦略—その構造のダイナミクス—』千倉書房、2010 年
- ◇ 「有力メーカーによる小売ブランド生産の必要性と受託動機」『金沢学院大学紀要』第 12 号、2014 年

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 通企業による P B 開発の歴史とその戦略についての研究
- ② PB 商品の高級化とその必要性についての研究

(Manabu Kotani)

准教授 **小谷 学** 経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : 会計学基礎Ⅰ・Ⅱ 財務会計 教養ゼミ 基礎演習 演習
- ② 出身学校 : 神戸大学大学院経営学研究科
- ③ 学 位 : 博士(経営学)
- ④ 所属学会 : 日本会計研究学会 日本ファイナンス学会 日本デイス
クロージャー研究学会
- ⑤ E-mail : kotani@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「会計基準の形成過程に対する株価反応の実証分析」博士学位請求論文、2010年 ◇「金融商品取引法における開示制度の有効性—大量保有報告制度の実証分析—」(音川和久氏との共著)、『産業経理』第69巻(第4号)、63-74頁、2010年 ◇「特別損失の計上頻度と将来業績の関連性」(北川教央氏との共著)、『国民経済雑誌』第206巻(第6号)、29-47頁、2012年
- ◇「アナリスト予想値の性質と公的情報の影響」『会計プロGRESS』第16号、17-29項、2015年
- ◇「行政キャッシュ・フロー計算書に基づく安全性指標の有用性」(片桐高宏氏との共著)、『金沢学院大学紀要』第14号、1-12頁、2016年

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①不確実性下における意思決定と情報の役割に関する研究
- ②アナリスト予想と会計情報の関係に関する研究

(Tohru Sakai)

准教授 **酒井 亨**



- ① 担当科目 : 情報社会論 学修基礎 教養ゼミ 基礎演習 演習
- ② 出身学校 : 早稲田大学政治経済学部政治学科 台湾大学大学院法学
研究科修士課程
- ③ 学 位 : 法学修士
- ④ 所属学会 : 日本台湾学会 情報通信学会 台湾史研究会 (日本比較
政治学会)
- ⑤ E-mail : sakai-t@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇台湾独立左派の顕在化、国民党衰退へ』『東亜』2016年3月号◇『戦後七〇年「右傾化」批判の正体』(イースト新書、2015年) ◇「台湾民主化の背景—分散型社会運動の力」、『地理』2013年12月号◇『台湾—したたかな隣人』(集英社新書、2006年)

(<https://ja.wikipedia.org/wiki/酒井亨> も参照のこと)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①台湾および韓国の民主化過程比較②クールジャパン政策(アニメコンテンツの海外における影響力と対日イメージの形成)③コンテンツツーリズム(アニメ聖地巡礼による地域振興)④東南アジア華人のアイデンティティ変遷

(Hirokatsu Fukuda)

准教授 **福田 裕一** 経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : 経営システム論Ⅰ・Ⅱ 情報技術基礎Ⅰ・Ⅱ システム設計Ⅰ 経営情報システム分析Ⅰ 情報処理演習Ⅰ 他
- ② 出身学校 : 金沢学院大学大学院
- ③ 学 位 : 修士 (経営情報学)
- ④ 所属学会 : プロジェクトマネジメント学会 日本経営工学会 日本オペレーションズ・リサーチ学会
- ⑤ E-mail : h-fukuda@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「プロジェクト・リスク・モデルを用いたリスク対策の効果の算出について」、『OR学会2016年春季研究発表会 アブストラクト集』、pp.287-288、2016◇「New mathematical model about the relation between the project risks and the time」、『The 27th European Conference on Operational Research』、2015◇「プロジェクト・リスクにおける汎用的フレームワークについて」、『不確実性の下での数理モデルとその周辺 RIMS 講究録 1939』、pp.162-171、2016◇「プロジェクト・リスクと遅延時間の関係の数理モデル化」、『日本OR学会2014年春季研究発表会 アブストラクト集』、pp.184-185、2014◇「プロジェクト・リスク・マネジメントにおける遅延時間に関する一考察」、『数理解析研究所講究録 1912 不確実性の下での数理的な意思決定の理論と応用』、pp.112-120、2014 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

プロジェクト・リスク・マネジメントに関する数理モデルの構築とその応用に関する研究

(Ryotaro Fukahori)

講師 **深堀 遼太郎**



- ① 担当科目 : 経済学の基礎 金融論 経営情報学特講(国際経済) 環境経済学 地域課題研究Ⅰ 学修基礎Ⅰ・Ⅱ 教養ゼミ
- ② 出身学校 : 慶應義塾大学大学院商学研究科
- ③ 学 位 : 修士 (商学)
- ④ 所属学会 : 日本経済学会
- ⑤ E-mail : fukahori@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇“The Effects of Incidence of Care Needs in Households on Employment, Subjective Health, and Life Satisfaction among Middle-aged Family Members”, *Scottish Journal of Political Economy*. Vol. 62, Issue5, pp518-545. (2015年、共著)◇「法定割増貸金率の引き上げが時間外労働時間および有給休暇の付与・取得に与える影響—2008年労働基準法改正の効果分析—」『三田商学研究』、第57巻第4号、pp49-73. (2014年、共著)◇「女性の幸福度・満足度は出産行動に影響を与えるのか—「消費生活に関するパネル調査」を用いた第1子・第2子出産行動の分析」『季刊家計経済研究』、第98号、pp.70-83. (2013年、共著)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

マイクロデータ(家計パネルデータなど)を用いた、以下に関する実証研究。うち一部の研究では調査の設計にも関与しながら進めている。①ワーク・ライフ・バランス②男女共同参画・ダイバーシティ③労働市場の質、④金融市場の質

(Toshiki Fukumoto)

講師 **福本 俊樹**



- ① 担当科目 : 基礎演習 経営管理論 経営学基礎 日本の会社経営
教養ゼミ 学修基礎
- ② 出身学校 : 神戸大学大学院経営学研究科
- ③ 学 位 : 経営学修士
- ④ 所属学会 : 経営学史学会・組織学会・日本情報経営学会
- ⑤ E-mail : fukumoto@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「新人導入教育における戦術的知識の産出へ向けて：組織社会化研究の二つのパラダイム」『神戸大学大学院経営学研究科大学院生ワーキングペーパー』201506a (2015年)
- ◇「実証主義の科学的有用性：介入を目指す新たな科学思想としてのアクション・サイエンス」(松嶋登氏・古賀広志氏と共著) (2014年)『日本情報経営学会誌』vol. 34, No. 4, (2014年) ◇「組織社会化戦術の実践的有用性の再検討」『神戸大学大学院経営学研究科第二論文』◇「組織社会化研究の新展開－組織における自己の記述形式を巡って－」『経営学史学会編 第二十輯 経営学の貢献と反省－二十一世紀を見据えて－』(2013年)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①組織の成員性をめぐる理論的・経験的研究
- ②仕事の場での社会的マイノリティを包摂／排除する実践についての経験的研究
- ③組織適応を促すマネジメント戦術の機能分析

(Junichi Yonezawa)

講師 **米澤 順一**



- ① 担当科目 : 簿記Ⅰ・Ⅱ 原価計算 商業科教育法 学修基礎 教養ゼミ
基礎演習 演習 会計実務Ⅰ・Ⅱ
- ② 出身学校 : 金沢大学(経済学部)
- ③ 学 位 : 経営情報学修士(金沢学院大学大学院)
- ④ 所属学会 :
- ⑤ E-mail : yonezawa@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「ストック・オプション会計の問題点に関する一考察」金沢学院大学平成18年度修士論文
- ◇「わが国における退職給付会計の展開(1)」金沢学院大学紀要第12号(2014)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①退職給付会計 ②簿記の教授法

金沢学院大学 芸術学部

学部長 飯田 栄治

	教授	准教授	講師	助教
芸術学科	飯田 栄治	荒川 昭広	廣根 礼子	
	○市島 桜魚	越田 久文	村谷 聡志	
	西田 伸一	児島 新太郎	吉田 一誠	
	丹羽 俊夫	羽場 文彦		
	平木 孝志			
	棒田 邦夫			
	山崎 達文			

○：学科長

(五十音順)

(Eiji Iida)

教授 **飯田 栄治** 経営情報学研究科(M)担当



- ソフトウェア基礎論 情報数学 デザイン論 I プレゼンテーション実習
① 担当科目 : II インタラクティブシステム シミュレーション技術 プログラミング I ゲームデザインII システムデザインI・II 卒業研究 プログラミング I 他
② 出身学校 : 北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科
③ 学 位 : 情報科学博士
④ 所属学会 : 電子情報通信学会 情報処理学会 日本認知科学会
人工知能学会 日本シミュレーション学会
⑤ E-mail : e-iida@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇ “人間の持つ解決戦略を利用した問題解決システム” 情報処理学会、第6回数値モデルと問題解決のシンポジウム論文集 2000.3 ◇ “ N^2-1 パズルのスケールダウン解法” 電子情報通信学会和文論文誌 1998.7 ◇ “A system to Perform Human Problem Solving” The 5th International Conference on Soft Computing and Information / Intelligence Systems, 1998.10 ◇ メッセージプロジェクト システム 出展 愛知万博 2005.5 ◇ “メッセージプロジェクト装置の制作とその効果について” エンタテインメントコンピューティング 2005.9 ◇ 金沢城辰巳櫓 3DCG 制作(2007、石川県、北國総研) 金沢市内小学校 DVD 配布 ◇ “電子掛け軸” エンタテインメントコンピューティング 2008.9 (金沢 21 世紀美術館) ◇ “「かげおくり」システム デモ エンタテインメントコンピューティング” 2009.9 (東京大学) ◇ “快適で美しいまちづくり推進の金沢らしい表示物に関する研究” 2013.3 (金沢市) ◇ “石川県の伝統文化の魅力海外発信プロジェクト” 2016.3(石川県) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① デジタルアート及びバーチャルリアリティシステムの研究
- ② 地域魅力発見発信研究 (地域学)

(Ougyo Ichishima)

教授 **市島 桜魚**



- 漆芸 I・II・III・IV・V 絵画工芸基礎 美術表現法
① 担当科目 : プレゼンテーション法II 卒業研究 他
② 出身学校 : 石川県立金沢二水高等学校
③ 学 位 :
④ 所属学会 : (公社) 日本工芸会 日本文化財漆協会
⑤ E-mail : ougyo@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇1990 第37回日本伝統工芸展 優秀賞(NHK 会長賞) 蒔絵「秋の野」小箆箱 ◇1992 第39回日本伝統工芸展 優秀賞(朝日新聞社賞) 平文「星螢」重ね箱 ◇1993 第10回日本伝統漆芸展 蒔絵「盛秋」八角箱 紀文美術館買上げ、ステッセルのピアノ復元における蒔絵制作 ◇1994 第50回石川県現代美術展 最高賞(技術賞) および 50 周年記念美術文化大賞 蒔絵「渦波」箱 ◇1995 第12回日本伝統漆芸展 蒔絵「宙」箱 宮内庁買上げ ◇1996 第13回日本伝統漆芸展 蒔絵「閃光」八角箱 国際国流基金買上げ ◇1998 第54回石川県現代美術展 委嘱賞 蒔絵「円」色紙箱 金沢市買上げ ◇1999 名古屋、'01 '06 '10 東京、'08 金沢にて個展

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 「平文」および「引っかき」の技法による表現の可能性
- ② 「漆芸・漆器、漆を塗る」がアイコン「japan」であることの意味
- ③ 「KOGEI」としての認識と発信の在り方について

(Shinichi Nishida)

教授 **西田 伸一**



- ① 担当科目 : 絵画工芸基礎 デッサン 洋画 I・II・III・IV・V 卒業研究
美術科教育法 I 美術表現法
- ② 出身学校 : 金沢美術工芸大学
- ③ 学 位 : 芸術学士
- ④ 所属学会 : 光風会会員・理事 日展会員 日本美術家連盟会員
- ⑤ E-mail : nishida@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇1990 光風会展光風奨励賞「刻・SARA」 ◇1992 日展初入選「刻・N氏の家族」
◇1993 光風会展光風奨励賞「刻・1993の肖像」 ◇1998 光風会展会友賞「刻・遠い風」
◇2001 光風会展会員賞「刻・刻・刻」 ◇2003 日展特選「刻・遠いみち」
◇2004 光風会展会員賞「刻・遠い季節」 ◇2005 光風会展会員賞「白い刻・I」
◇2007 日展特選「思秋」 ◇2012 現代美術展委嘱賞「爽」
◇2012 光風会展文部科学大臣賞「風の季節に」

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

油彩・アクリルによる人物を通しての写実絵画

(Toshio Niwa)

教授 **丹羽 俊夫**



- 模写演習 地域美術史 文学II 人間と哲学I・II 日本
- ① 担当科目 : 画II、III、IV、V 教育学 ファッションドローイング 地域文化史
論 基礎描画
- ② 出身学校 : 金沢美術工芸大学
- ③ 学 位 : 芸術学士
- ④ 所属学会 : 新日本美術院会長 日創会会長
- ⑤ E-mail : niwa@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇1982 外務大臣賞(第18回亜細亜現代美術展)◇1984 石川県能楽文化会館別館能舞台鏡板絵制作◇「昭和58年度芸術文化に活躍された人々の懇談のつどい」内閣総理大臣主催園遊会招待◇1985 安田火災美術財団奨励賞◇1987 国際芸術文化賞(日本文化振興会)◇1989 文部大臣奨励賞(第25回亜細亜現代展)◇1997 新日本美術院作家大賞(第29回神院展)◇1998 石川県松任市(現白山市)新庁舎壁画制作◇2005 北國新聞社赤羽ホール「金沢大観図屏風」六曲一双制作◇2009 第63回北國文化賞◇2010 文部科学大臣教育功労賞

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 日本絵画思想の表現と技法 ② 日本美術文化思想の技と美

(Takashi Hiraki)

教授 **平木 孝志**



- ① 担当科目 : 日本美術史 東洋美術史 卒業研究 日本美術特論
日本画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ 美術表現法 金沢まち学特論
- ② 出身学校 : 金沢美術工芸大学大学院
- ③ 学 位 : 芸術学修士
- ④ 所属学会 : (社)日展 (財)石川県美術文化協会 石川県茶道協会
茶の湯文化学会 美術史学会 儀・禮文化学会
- ⑤ E-mail : t-hiraki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇第37回日展題名「磯」特選
- ◇第42回日展題名「家族」特選
- ◇源氏物語香函全五十四帖制作
- ◇新潟県加茂市長瀬神社天井画90枚・絵馬制作
- ◇金沢市寺町本因寺天井画 40 枚・龍図・襖絵制作

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①現代日本絵画制作
- ②伝統的日本画制作

(Kunio Bouda)

教授 **棒田 邦夫**



- CG 演習Ⅰ・Ⅱ マルチメディア演習Ⅰ・Ⅱ DTP デザイン デザイン
- ① 担当科目 : 演習Ⅳ 人間工学 卒業研究 メディアデザイン論Ⅱ ウェブデザインⅡ 基礎造形Ⅰ・Ⅱ キャリアデザイン基礎 色彩実習
- ② 出身学校 : 愛知県立芸術大学大学院
- ③ 学 位 : 芸術学修士
- ④ 所属学会 : 日本インテリア学会 日本映像学会
- ⑤ E-mail : bouda@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇映像とデザイン-映像表現に求められるデザインの役割-(金沢学院大学紀要文学・美術編第1号)
- ◇木構造でつくる音楽室の遮音(日本インテリア学会第14回大会研究発表梗概集)
- ◇木構造でつくる音楽室の遮音-高低音域と通常在来の比較-(日本インテリア学会第15回大会研究発表梗概集)
- ◇映像とデザイン-映像編集でみせる CG とモーションキャプチャー-(金沢学院大学紀要文学・美術編第2号)
- ◇今日の映像に影響を与えたメリエスの表現技術の考察(金沢学院大学紀要文学・美術編第3号)
- ◇映画の映像表現と社会性(金沢学院大学紀要文学・美術編第4号)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①CGによる視覚表現
- ②映像表現に求められるCG技術
- ③行動心理に現れるレイアウト

(Akihiro Arakawa)

准教授 **荒川 昭広**



- ① 担当科目 : ビジュアルデザイン 色彩学 CG 実習 デッサン実習
メディアデザイン論 学修基礎 I・II
- ② 出身学校 : 金沢美術工芸大学
- ③ 学 位 : 芸術学士
- ④ 所属学会 : 日本デザイン学会
- ⑤ E-mail : arakawa@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

金沢市民芸術村アクションプラン・教育普及プログラム「レンガ造りの芸術村を描こう」プロジェクト、アートイベント「百万人のキャンドルナイト IN 金沢市民芸術村」、「かなざわ女子店舗デザイナーの仕事-」プロデュース、金沢ボランティア大学校特別講師「金沢の文化とまちづくり」(平成 26 年)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

地域における美術デザインの役割について

(Hisafumi Koshida)

准教授 **越田 久文**



- 映像論 情報メディア論 映像メディア表現演習 映像制作 I・II ムービータイプグラフィック Web 基礎 Web デザイン 卒業研究
メディアプロデュース論 アニメーション演習 II ウェブデザイン演習
- ② 出身学校 : 北九州市立大学 中退 専攻: メディア学
- ③ 学 位 :
- ④ 所属学会 :
- ⑤ E-mail : koshida@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇卒業研究主要テーマ:ブロードキャスト(放送)とインターネットの補完性
・視聴者参加番組のリアルタイム投票・集計システム設計
・EC サイト「金沢屋」設計・開発

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

① 上デジタル放送時代における、ネットと放送の融合

(Shintaro Kojima)

准教授 **児島 新太郎**



絵画工芸基礎 芸術表現基礎 絵画演習 洋画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・

- ① 担当科目 : Ⅳ・Ⅴ 現代美術史 卒業研究(洋画) 近代美術史 現代美術史 デッサン 美術表現法 卒業研究
- ② 出身学校 : 金沢美術工芸大学大学院
- ③ 学 位 : 修士(芸術)
- ④ 所属学会 : 日展会友 光風会評議員
- ⑤ E-mail : s-kojima@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇2012年 第44回日展 特選受賞
- ◇2013年 都美セレクション 新鋭美術家2013 選抜(東京都美術館)
- ◇2014年 改組新第1回日展 特選受賞
- ◇2015年 第101回光風会展 文部科学大臣賞
- ◇2016年 光風会評議員 日展会友

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

画面上に祈りのかたちを探ることで意志の在り方を示す、
更にはそのものが願いの形となることを求めて制作しています。

(Fumihiko Haba)

准教授 **羽場 文彦**



芸術表現基礎 陶芸Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ 卒業研究 現代美

- ① 担当科目 : 術史 工芸実習 美術表現法 絵画工芸基礎 工芸演習
近代美術史
- ② 出身学校 : 金沢美術工芸大学
- ③ 学 位 : 芸術学修士
- ④ 所属学会 :
- ⑤ E-mail : fumihaba@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇2005、6年 (東京・銀座・フタバ画廊)
- ◇2009、10、11、12、14、15年 (東京・神宮前・トキアートスペース)
- ◇2011年 (東京・銀座・ギャラリーSOL)
- ◇2013年 (東京・京橋・LIXILギャラリー ガレリアセラミカ) 等

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①土のもつ可能性を引き出した造形制作 ②量産技法を使用した作品の展開
- ③ギャラリー等での作品発表 ④教育素材の研究と授業での活用

(Hirone Ayako)

講師 **廣根 礼子**



デザイン演習Ⅲ 学修基礎Ⅰ・Ⅱ メディアデザイン論 デザイン

- ① 担当科目 : 基礎 卒業研究 色彩とデザイン コミュニケーション演習 C ビジュアルデザインⅠ・Ⅱ
- ② 出身学校 : 金沢美術工芸大学
- ③ 学 位 : 芸術学士
- ④ 所属学会 : アートミーツケア学会、金沢アートディレクターズクラブ
- ⑤ E-mail : hirone@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇2007年 個展(金沢市) ◇2009年 出展:第5回 雪のデザイン展(中谷宇吉朗雪の科学館)
- ◇2010年 個展(金沢市) ◇2010年 出展:結晶-それぞれの想い-(加賀アートギャラリー)
- ◇2010年 出展:工芸都市高岡 2010 クラフト展 (大和高岡店)
- ◇2012年 出展:群馬県立館林美術館企画展示「雪と氷」
- ◇2012年 出展:工芸都市高岡 2012 クラフト展 (大和高岡店)
- ◇2013年 個展(金沢市) ◇2013年 出展:「生活工芸/金沢」(代官山 T-SITE ギャラリー)
- ◇2014年 出典:石川県伝統産業工芸館企画展(金沢)
- ◇2015年 JAGDA 石川「デザイン奇席」Kanazawa ADC、熊本県伝統工芸館企画展「いしかわなう」展、「工芸館 Reading Style21世紀バージョン」展

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 羊毛を主原料とする繊維による造形作品の制作・展示、デザイン応用
- ② 羊毛を媒介とする「ケア」をテーマとしたワークショップ

(Soshi Muratani)

講師 **村谷 聡志**



- ① 担当科目 : 漆芸Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ 工芸実習 美術表現法 卒業研究
プレゼンテーション法Ⅰ・Ⅱ 芸術表現基礎
- ② 出身学校 : 金沢学院大学
- ③ 学 位 : 芸術学士
- ④ 所属学会 : (社)日本工芸会
- ⑤ E-mail : muratani@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇第22回日本伝統漆芸展 日本工芸会賞 変塗り飾り箱「華」
- ◇第61回金沢市工芸展 北国新聞社社長賞 乾漆銘々皿「花想う」
- ◇第62回金沢市工芸展 金沢青年会議所理事長賞 「乾漆銘々皿」
- ◇第47回石川の伝統工芸展 奨励賞 蒔絵飾り箱「空へ」
- ◇第66回現代美術展 次賞「乾漆盛器」
- ◇第27回日本伝統漆芸展 東京都教育委員会賞「水韻」

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 態と加飾の相互性と必然性 ②素地からの一貫制作と胎の研究

(Issei Yoshida)

講師

吉田 一誠



CG 演習Ⅲ・Ⅳ アニメーション演習Ⅰ ゲームデザインⅠ プレゼンター

- ① 担当科目 : ショーン演習 マルチメディア論 卒業研究 映像論 デジタルデザイン
フォトグラフィー
- ② 出身学校 : ロンドン大学ゴールドスミス・カレッジ
- ③ 学 位 : BA Fine Art, MA Fine Art, MA Digital Media
- ④ 所属学会 : アメリカ・コンピュータ学会 コンピュータグラフィック
ス分科会 (ACM/SIGGRAPH)、日本写真学会
- ⑤ E-mail : i-yosida@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇2014-2016年 3D 立体視技術活用による静的・動的空間での芸術表現の研究とそのカリキュラムの構築 (代表研究者)
- ◇2014年 TOKYO WONDER WALL 公募 2014 入選
- ◇2014年 AOMORI PRINT トリエンナーレ 入選
- ◇2002年「国際ビデオアート展・秋葉原TV-3」(東京)、2008年「The Gloaming」展 (シンガポール)、2009年「トゥース・トラベルアワード」(イギリス) 出品

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①芸術・デザインを通じた地域活性化プロジェクト
- ②3D 立体映像の歴史とその芸術表現の可能性

金沢学院大学 人間健康学部

学部長 藤原 勝夫

	教授	准教授	講師	助教
スポーツ健康学科	石村宇佐一 ○井篁 敬 外山 寛 西川 友之 平井 敦夫 平下 政美 藤原 勝夫 渡辺 涼子	福井 卓也 丸山 章子 渡辺 直勇	高木香代子 山脇あゆみ	
健康栄養学科	○川村美笑子 桜田惣太郎 林 直之 宮本 恵美 矢野 俊博 渡邊 琢夫	七尾由美子	伊藤 俊輔 岩田恵美子	西野喜美子

○：学科長

(五十音順)

(Katsuo Fujiwara)

教授 **藤原 勝夫** スポーツ健康学研究科担当



- ① 担当科目 : 機能的解剖学 生命倫理 海外文献購読 健康科学
専門演習 I・II 運動生理学
- ② 出身学校 : 筑波大学大学院博士課程体育科学研究科
- ③ 学 位 : 教育学博士
- ④ 所属学会 : 日本健康行動科学会、Society for Neuroscience
- ⑤ E-mail : fujikatu@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇Event-related brain potential and postural muscle activity during standing on an oscillating table while the knee, hip and trunk are fixed. *J Physiol Anthropol* (in press), 2016.
- ◇Postural control during transient floor translation while standing with the leg and trunk fixed. *Neuroscience Letters*, 594: 93-98, 2015.
- ◇Postural responses to various frequencies of vibration of the triceps surae and forefoot sole during quiet standing. *Perception*, 44:39-51, 2014.
- ◇Dominant side in single-leg stance stability during floor oscillations at various frequencies. *J Physiol Anthropol*, 33:25, DOI: 10.1186/1880-6805-33-25, 2014.
- ◇Effect of time pressure on attentional shift and anticipatory postural control during unilateral shoulder abduction reactions in an oddball-like paradigm. *J Physiol Anthropol*, 33, 2014.
- ◇Effects of limiting anterior displacement of the center of foot pressure on anticipatory postural control during bilateral shoulder flexion. *J Electromyogr Kinesiol*, 23(6), 2013.
- ◇Effects of neck flexion on discriminative and cognitive processing in anticipatory postural control during bilateral arm movement. *Neuroscience Letters*, 518(2), 2012.
- ◇Changes in event-related potentials associated with postural adaptation during floor oscillation. *Neuroscience*, 213, 2012.
- ◇The effects of neck flexion on cerebral potentials evoked by visual, auditory and somatosensory stimuli and focal brain blood flow in related sensory cortices. *J PhysiolAnthropol*, 31(31), 2012.
- ◇Adaptation changes in dynamic postural control and contingent negative variation during backward disturbance by transient floor translation in the elderly. *J Physiol Anthropol*, 31 (12), 2012.

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

姿勢制御、脳賦活、事象関連脳電位、注意機能、体力

(Ishimura Usaichi)

教授 **石村 宇佐一** スポーツ健康学研究科担当



- ① 担当科目 : メンタルトレーニング論 スポーツ技術・戦術論 海外文献講読 専門演習Ⅱ
- ② 出身学校 : 広島大学
- ③ 学 位 : 教育学士
- ④ 所属学会 : 日本体育学会名誉会員、日本スポーツ心理学会名誉会員、日本コーチング学会、日本教育医学会 等
- ⑤ E-mail : u-ishi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇『メンタルトレーニング基礎』～不測の事態に備える～、単著ふくろう出版 2015年9月
- ◇『メンタルトレーニング入門』(単著) ふくろう出版、2013年9月
- ◇『Basketball-Step to success-』(訳者代表) 大修館書店、2012年12月
- ◇『COURT SENSE-Winning Basketball's Mental Game』訳者代表、大修館書店 2012年12月
- ◇『保健体育』文部科学省検定済教科書、中学校保健体育科用、著作者代表(高橋健夫) 他23名、大修館書店、2011年2月
- ◇「ジュニア女子サッカー選手における心理的スキルトレーニングプログラムの検討」北陸体育学会紀要 Vol. 50, 2014

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①最高の成績を発揮するためのメンタルトレーニング②スポーツマンにおける心理的スキルトレーニングプログラムの開発③ゲーム分析:(量的、質的分析)

(Takashi Ino)

教授 **井 笥 敬** スポーツ健康学研究科担当



- ① 担当科目 : スポーツ心理学 スポーツ測定評価 スポーツ実技Ⅲ(陸上) スポーツ実技Ⅳ(テニス・バドミントン) スポーツ統計学Ⅱ 他
- ② 出身学校 : 筑波大学体育専門学群
- ③ 学 位 : 体育学修士(筑波大学大学院)
- ④ 所属学会 : 日本体育学会 日本スポーツ心理学会 日本体育測定評価学会 日本ゴルフ学会 スポーツビジョン研究会
- ⑤ E-mail : inou@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

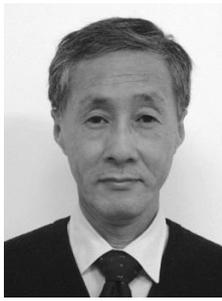
- ◇大学における遠泳実習が気分及び影響について、金沢学院大学紀要第14号—経営・経済・情報・自然科学編、2016.3
- ◇スポーツ健康学部新入生の各種測定結果(体力、体組成、スポーツビジョン)～平成27年度～、金沢学院大学紀要第14号—経営・経済・情報・自然科学編、2016.3
- ◇陸上競技選手の心理的競技能力に関する研究、金沢学院大学紀要第12号—経営・経済・情報・自然科学編、159～166、2014.3
- ◇トランポリン選手の注意様式に関する研究、金沢学院大学紀要第12号—経営・経済・情報・自然科学編、2014.3

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

スポーツ心理学 スポーツ測定評価 スポーツビジョン

(Hiroshi Toyama)

教授 外山 寛 スポーツ健康学研究科担当



- ① 担当科目 : 運動生化学 学校保健 専門演習 I・II 運動処方 学修
基礎 運動生理学
- ② 出身学校 : 東京学芸大学大学院教育学研究科保健体育専攻
- ③ 学 位 : 博士 (学術)
- ④ 所属学会 : 日本健康行動科学会、Society for Neuroscience
- ⑤ E-mail : toyahiro@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇Changes in body sway and muscle activity with adaptation while standing on an oscillating floor. Health and Behavior Sciences, 13(1), 2014.
- ◇健康高齢女性における身体活動量、下腿筋力および下腿三頭筋厚の秋期から冬期への変化. Health and Behavior Sciences, 12(1): 2013.
- ◇Adaptation changes in dynamic postural control and contingent negative variation during backward disturbance by transient floor translation in the elderly. J Physiol Anthropol, 31(12), 2012.
- ◇Effects of regular heel-raise training aimed at the soleus muscle on dynamic balance associated with arm movement in elderly women. J Strength Cond Res, 25(9), 2011.
- ◇サポート機能を有する下着着用後の足踏み運動時の身体の非対称性軽減. Health and Behavior Sciences, 9(2): 173-182, 2011.
- ◇Changes in muscle thickness of gastrocnemius and soleus associated with age and sex. Aging Clin Exp Res, 22(1), 2010.
- ◇Regular heel-raise training focused on the soleus for the elderly: evaluation of muscle thickness by ultrasound. J Physiol Anthropol, 29(1), 2010.
- ◇Determination of disturbance parameters of forward floor translation for balance training to prevent falling. Health and Behavior Sciences, 8(1), 2009.
- ◇Postural muscle activity patterns during standing at rest and on an oscillating floor. J Electromyogr Kinesiol, 16, 2006.
- ◇Perception of large change in distribution of heel pressure during backward leaning. Perceptual and Motor skills, 100, 2005.

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

随意運動の自動化

(Atsuo Hirai)

教授

平井 敦夫

スポーツ健康学研究科担当



運動生理学 スポーツ実技Ⅱ(ニュースポーツ) スポーツ実技Ⅰ(シーズ

- ① 担当科目 : ンスポーツ夏・冬) スポーツ医学 スポーツ経営管理 スポーツ実技Ⅲ(柔道・剣道) 基礎演習 専門演習Ⅰ・Ⅱ
- ② 出身学校 : 金沢大学
- ③ 学 位 : 博士(医学) 金沢大学
- ④ 所属学会 : 日本体力医学会
- ⑤ E-mail : hirai@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇いしかわウオーキングガイド(平成14年 北國新聞社) ◇運動負荷時の蒸散性熱放散反応は摂食により促進されるか(平成7年 科学研究費補助金一般研究(C)研究成果報告書)
- ◇動静脈吻合の体力医学的意義、デサントスポーツ科学、Vol.19 1998
- ◇摂食が指部と前腕部の血管反応に及ぼす影響 体力科学 Vol.44, 1995. ◇無風高温環境で頭部の熱移動におよぼす化粧の影響、宇宙航空環境医学 Vol.30, 1993.

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 運動中のエネルギー出納 ②運動と栄養 ③スポーツ傷害の予防

(Masami Hirashita)

教授

平下 政美

スポーツ健康学研究科担当



スポーツ科学 生理学基礎 健康産業施設等現場実習 健康

- ① 担当科目 : 運動演習 健康管理演習 健康運動指導士演習 健康づくり運動実習 専門演習Ⅰ・Ⅱ 基礎演習
- ② 出身学校 : 金沢大学
- ③ 学 位 : 博士(医学) 金沢大学
- ④ 所属学会 : ICHPER 国際学会終身会員、日本生理学会、日本生気象学会、日本体力医学会、日本運動生理学会、日本介護福祉学会 日本体育学会
- ⑤ E-mail : hirasita@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- 著書 : ◇『貯めよう筋肉』2009年 北國新聞社 ◇「未病にきく15のワザ」2009年 JAF MATE
- 論文 : The effect on body core temperature of the change in peripheral blood flow during lower body negative pressure. Environmental Ergonomics. (2005) Effects of Food Intake on Cardiovascular Responses to a Negative Lower-Body Pressure. Pre-Olympic Conference of Sports Science and Sports. (2004)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①暑熱馴化と運動パフォーマンスの関係究明 ②高齢者における筋肉トレーニング効果の検証
- ② 液量と運動パフォーマンスの関係究明

(Ryoko Watanabe)

教授 **渡辺 涼子** スポーツ健康学研究科担当



トレーニング論 コーチング論 スポーツ実技Ⅷ(柔道・剣道) 専門演

- ① 担当科目 : 習Ⅰ・Ⅱ スポーツボランティア演習 海外研修(スポーツ事情) 学
修基礎Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツ論
- ② 出身学校 : 筑波大学大学院
- ③ 学 位 : 体育学修士
- ④ 所属学会 : 日本体育学会 日本武道学会
- ⑤ E-mail : ryoko@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「柔道強化選手と比較した大学柔道選手の精神的特徴」講道館柔道科学研究第12輯 197～204
2008 ◇「アテネオリンピックのメンタルサポートー日本代表選手のUK分析から」、講道館科
学研究会紀要第10編、2005 ◇「全日本女子強化選手の運動機能に関する比較研究」柔道科学
研究第1号 7-10 1995 ◇「女子柔道強化選手の体力に関する研究」武道学研究 第24巻 1993
他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 日本代表柔道選手の成育史に関する研究 ②女子柔道選手のコンディション評価
③ 柔道における新ルール改正への影響

(Sakurada Sotaro)

教授 **桜田 惣太郎** スポーツ健康学研究科担当



- ① 担当科目 : 健康管理演習 生活習慣病概論 衛生・公衆衛生学 病理
学 健康科学
- ② 出身学校 : 金沢大学医学部医学科
- ③ 学 位 : 博士(医学) 金沢大学
- ④ 所属学会 : 日本公衆衛生学会、日本介護福祉学会、日本産業衛生学会
北陸甲信越地方会、日本栄養改善学会
- ⑤ E-mail : sakurada@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇Shifts of thermoeffector thresholds in heat-acclimated rats. J. Physiol. (London)
Vol. 483 (1995) ◇ A role for gastrointestinal endotoxins in the enhancement of heat to
lerance by physical fitness. J. Appl. Physiol. Vol. 84 (1998)
◇Ca²⁺-dependent activation of Rho and Rhokinase in membrane depolarization-induced
and receptor stimulation-induced vascular smooth muscle contraction. Circ Res.
Vol. 93(2003) ◇体重と運動量の変化からみた生活習慣改善コースの実践効果
北陸公衆衛生学会誌 Vol. 30 (2003) ◇若年者を対象とした運動教室参加者の
肥満関連遺伝子と運動による減量効果について肥満研究 Vol. 18 (2012)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①運動と疾病の予防②生活習慣病の運動療法③健康増進プログラム

(Naoyuki Hayashi)

教授 **林 直之**



- ① 担当科目 : 生化学 I・II 生化学実験 化学基礎 就業体験 (インターシップ)
- ② 出身学校 : 大阪大学大学院 工学研究科
- ③ 学 位 : 工学博士
- ④ 所属学会 : 日本分子生物学会 日本生化学会 日本癌学会
- ⑤ E-mail : n-hayashi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇細胞分裂周期を調節する遺伝子 NBS1 と結合するものとして、DNA メチル化酵素を分離した。
◇テロメアの構造を作る為に必要な遺伝子を分離した。また、テロメア領域の転写抑制能を変化させる突然変異を多数解析した。

筆頭論文：◇Pleiotropic functions of RB protein in tumor suppression. *Archives in Cancer Research* 3(3):22(2015) 共著
◇Regulatory interactions between NBS1 and DNMT1 responding to DNA damage. *Journal of Biochemistry* (Tokyo)154(5):429-435. (2013) 共著 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

細胞増殖の調節遺伝子による栄養代謝制御

(Emi Miyamoto)

教授 **宮本 恵美**



- ① 担当科目 : 食品学 I・II 学修基礎 II
- ② 出身学校 : 大阪府立大学
- ③ 学 位 : 農学博士
- ④ 所属学会 : 日本ビタミン学会 日本栄養・食糧学会 日本農芸化学学会 日本改善学会 日本家政学会 他
- ⑤ E-mail : e-miyamo@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

著書：ビタミンの新栄養学，講談社サイエンティフィック（2012）分担執筆

筆頭論文：◇食用藻類に含まれるビタミン B₁₂ 化合物の特性と生理機能，*ビタミン*，84(3)，103-110 (2010) 単著

◇Characterization of methylmalonyl-CoA mutase involved in the propionate photoassimilation of *Euglena gracilis* Z. *Archives of Microbiology*:192(6), 437-446 (2010) 共著

◇Characterization of Vitamin B₁₂ Compounds from Korean Purple

Laver (*Porphyra* sp.) Product. *Journal of Agricultural and Food Chemistry*, 57, 2793-2796 (2009) 共著 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①食品に含まれるビタミン B₁₂ の特性と栄養評価 ②ビタミン B₁₂ 依存性酵素に関する研究 ③地産食品の利用に関する研究

(Toshihiro Yano)

教授 **矢野 俊博**



- ① 担当科目 : 食品学 I 食品衛生学 食品学実験 食品衛生学実験
食品微生物学
- ② 出身学校 : 立命館大学 理工学部
- ③ 学 位 : 農学博士
- ④ 所属学会 : 日本防菌防黴学会、日本食品微生物学会 他
- ⑤ E-mail : yanotosh@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇著書 (分担執筆) 『管理栄養士のための大量調理施設の衛生管理』(幸書房 2005) 『実践!! 食品工場の品質管理』(幸書房 2008) 『実践!! 食品工場のハザード管理』(幸書房 2011)
- ◇原著論文 (共同研究) 「清酒の小仕込み試験における酒質、特に有機酸生成に及ぼす影響因子」(日本醸造学会誌 108 2013) 「Effect of food residues on efficiency of surfactants against food related pathogens adhered polystyrene and ceramic surfaces」(LWT-food science and technology 46 2013) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①食品の安全性の担保および品質改善に関する研究 ②清酒製造に関する研究 ③食品の新しい殺菌技術に関する研究

(Takuo Watanabe)

教授 **渡邊 琢夫**



- ① 担当科目 : 解剖生理学 解剖生理学実験 病理学
- ② 出身学校 : 東北大学医学部 同大学院医学系研究科
- ③ 学 位 : 医学博士
- ④ 所属学会 : 日本生化学会 日本糖尿病学会 米国分子生物学・生化学学会
- ⑤ E-mail : takuo@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇Regulation of alternative splicing of the receptor for advanced glycation endproducts (RAGE) through G-rich cis-elements and heterogenous nuclear ribonucleoprotein (hnRNP) H. J. Biochem., 147, 651-659 (2010). 共著
- ◇Reduced expression of endogenous secretory receptor for advanced glycation endproducts in hippocampal neurons of Alzheimer's disease brains. Arch. Histol. Cytol., 70, 279-290 (2007). 共著
- ◇Endogenous secretory receptor for advanced glycation end-products inhibits amyloid- β 1-42 uptake into mouse brain. J. Alzheimers Dis., 28, 709-720 (2012)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- 糖尿病をはじめとする生活習慣病の病態や合併症の発症機構を細胞・分子レベルで理解し、その知見を生活習慣病の予防に生かしていきたい。

(Takuya Fukui)

准教授

福井 卓也

スポーツ健康学研究科担当



専門演習Ⅰ・Ⅱ 運動学 競技者育成システム 地域とスポーツ

- ① 担当科目 : スポーツイベント企画運営 スポーツ実技Ⅶ(トランポリン) スポーツ実技Ⅰ(シーズンスポーツ夏・冬)
- ② 出身学校 : 日本体育大学大学院
- ③ 学 位 : 体育学修士
- ④ 所属学会 : 日本体育学会 日本スポーツ方法学会
- ⑤ E-mail : fukui@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇トランポリン競技における技の体系化に関する研究
- ◇トランポリン競技の技術体系に関する研究
- ◇トランポリン競技におけるオリンピック強化対策に関する一考察

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

トランポリン競技における頭部傾斜が跳躍高に与える影響

(Akiko Maruyama)

准教授

丸山 章子

スポーツ健康学研究科担当



スポーツ科学 スポーツコンディショニング論 スポーツ競技の心理

- ① 担当科目 : スポーツ実技Ⅱ(ニュースポーツ) スポーツ実技Ⅶ(トランポリン) 基礎演習 専門演習Ⅰ・Ⅱ
- ② 出身学校 : 金沢大学教育学部
- ③ 学 位 : 教育学修士(金沢大学)
- ④ 所属学会 : スポーツ心理学会
- ⑤ E-mail : akiko-f@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「トランポリン競技における Lost Skill Syndrome に関する臨床的研究」金沢大学平成 10 年度修士論文
- ◇「バスケットボール選手における心理的コンディショニングが競技成績に及ぼす影響」(金沢大学教育学部紀要第 46 号 1998)
- ◇「トランポリン選手のメンタルトレーニングに関する縦断的研究」金沢大学教育学部紀要第 47 号 1998
- ◇「トランポリン競技選手の心理的サポートに関する縦断的研究ーオリンピックを目指す女子選手の事例ー」(金沢学院大学紀要情報科学・自然科学編第 4 号 2006)
- ◇(公財)日本体操協会強化本部女子ナショナルチームコーチ(2009 年～現在に至るまで)
- ◇2012 ロンドン五輪日本代表女子コーチ

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

トランポリンをはじめ、各競技のメンタルトレーニングの効果、有効性について検討し、各競技に効果的なメンタルトレーニングプログラムを開発する。

(Naotake Watanabe)

准教授 **渡辺 直勇**



スポーツ実技Ⅷ(柔道・剣道) スポーツ科学 就職基礎講座 就

- ① 担当科目 : 職対策講座 就職入門講座 専門演習Ⅰ・Ⅱ スポーツ行政論 スポーツボランティア論 基礎演習
- ② 出身学校 : 筑波大学大学院
- ③ 学 位 : 体育学修士
- ④ 所属学会 : 日本武道学会
- ⑤ E-mail : naotake@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

- ◇柔道の競技レベルが投技評価における異見発生に及ぼす影響について
- ◇現代人のための健康づくり
- ◇「柔道選手における無酸素パワーと有酸素パワーの関係について」筑波大学修士論文 1989
- ◇「一流男子柔道選手の試合前のコンディショニングに関する実態調査」武道学研究 1997
- ◇「世界強豪選手の組み手と技データ～2001世界選手権」柔道科学研究第8号 2003
- ◇「学生生活におけるマナー意識向上のためのシステムの提案」本教育メディア学会 2010

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 柔道選手における体力について②柔道競技の審判法について③武道教育について

(Yumiko Nanao)

准教授 **七尾 由美子**



- ① 担当科目 : 栄養教育論Ⅰ 栄養情報処理実習 学修基礎 栄養教育特論
- ② 出身学校 : 東京家政大学家政学部栄養学科管理栄養士専攻
- ③ 学 位 : 博士(学術)
- ④ 所属学会 : 日本栄養改善学会、日本食生活学会、日本健康教育学会 他
- ⑤ E-mail : nanao@kanazawa-gu.ac.jp (TEL:076-229-8957)

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

- 著書: ◇栄養教育・指導実習、建帛社(2016)分担執筆◇応用栄養学、学文社(2015)分担執筆◇公衆衛生学、学文社(2015)分担執筆 他
- 論文・発表◇スポーツ選手に対する強化子や嫌子となる身体に関わる発言、金沢学院大学紀要(2016)
- ◇視覚教材「食事バランスマツト」を利用した栄養教育の影響(第4報) 一献立作成力に与える影響-日本栄養改善学会学術総会(2015) 他

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①スポーツ選手への食支援
- ②大学生の食生活の実態調査 他

(Kayoko Takagi)

講師 **高木 香代子**



- ① 担当科目 : スポーツ実技Ⅵ(ダンス) スポーツ科学 キャリアプランニング(FSP 講座)
- ② 出身学校 : 金沢大学大学院
- ③ 学 位 : 教育学修士
- ④ 所属学会 : 日本体育学会
- ⑤ E-mail : k-takagi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「エアロビックダンスの運動強度ー上肢、及び、下肢の動きの分類によるー」金沢大学大学院教育学研究科修士論文、1991
- ◇「エアロビックダンス・インストラクターの現状と問題点ーセミナー参加インストラクターを対象としてー」金沢大学教育学部紀要、教育科学編、第47号、1998(共著)
- ◇「大学生の『創作ダンスの授業』に関する研究」金沢学院大学紀要情報科学、自然科学編、第12号、2014

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①学校・幼児体育におけるダンス及び表現運動に関する研究
- ②ダンス・エクササイズの指導方法

(Ayumi Yamawaki)

講師 **山脇 あゆみ**



- ① 担当科目 : スポーツ実技Ⅰ(シーズンスポーツ夏・冬) スポーツ実技Ⅲ(陸上) スポーツ実技Ⅴ(サッカー・バレー) 体育史 健康産業施設等現場研修 健康運動指導士演習 健康づくり運動実習 他
- ② 出身学校 : 金沢大学大学院
- ③ 学 位 : 博士(学術)
- ④ 所属学会 : 日本体育学会 日本野外教育学会 東北アジア体育スポーツ史学会
- ⑤ E-mail : yamawaki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇日本泳法の伝播と変容(博士論文)[金沢大学大学院2015受理]
- ◇組織キャンプにおける参加児童の社会的行動に関する研究、野外教育研究第14号、pp.1-12(2011)
- ◇台湾に伝えられた日本泳法-古亭庄水泳場と基隆水泳場を中心に-、体育史研究第30号、pp.97-108(2013)
- ◇金沢に伝わる古式泳法に関する研究-清記流の泳法について-、金沢学院大学紀要第11号経営・経済・情報科学・自然科学編、pp.199-207(2013)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 野外教育 ② 野外スポーツ ③ 日本泳法

(Syunsuke Ito)

講師 **伊藤 俊輔**



基礎栄養学 基礎栄養学実験 生物学基礎 学修基礎

- ② 担当科目 : I・II 解剖生理学実験 自然科学入門B 情報処理基礎
ウェルネス栄養学実習
- ② 出身学校 : 京都府立大学大学院
- ③ 学 位 : 修士
- ④ 所属学会 : 日本栄養改善学会 日本栄養・食糧学会 日本アミノ酸学
会 日本栄養士会
- ⑤ E-mail : syu-ito@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇インスリン誘導性内臓脂肪型肥満モデル動物の作成 (2011) 日本栄養・食糧学会誌
- ◇新規製麹技術を用いた機能性食品素材のエネルギー代謝亢進作用 (2011) 食品加工技術
- ◇Dietary medium-chain triglycerides attenuate hepatic lipid deposition in growing rats with protein malnutrition (2012) J. Nutri. Sci.
- ◇Supplementation with branched-chain amino acids attenuates hepatic apoptosis in rats with chronic liver disease (2012) Nutr. Res.

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

高インスリン血症における脂肪蓄積に関する研究

(Emiko Iwata)

講師 **岩田 恵美子**



- ① 担当科目 : 調理学 調理学実習 I 調理科学実験
- ② 出身学校 : 神戸女子大学大学院家政学研究科食物栄養学専攻
- ③ 学 位 : 博士 (食物栄養学)
- ④ 所属学会 : 日本栄養・食糧学会 日本家政学会 日本栄養改善学会
他
- ⑤ E-mail : e-iwata@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇ 論文 「Hypolipidemic and bifidogenic potentials in the dietary fiber prepared from Mikan (Japanese mandarin orange: *Citrus unshiu*) albedo. J Nutr Sci Vitaminol. 58: 175-180, 2012. 「生鮮ショウガの切断および磨砕時における色の変化」日本食生活学会誌 26:85-90, 2015
- ◇発表「ジャガイモの加熱調理方法と食味評価一品種と貯蔵期間によるちがいは」日本食品保蔵学会創立40周年記念大会。「実エンドウ莢の有効利用について」日本栄養改善学会第62回学術総会。「ショウガデンプンの特性と調理への利用」平成27年度(公社)石川県栄養士会研究発表会

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

調理操作が食材の栄養成分や食味におよぼす影響について

(Kimiko Nishino)

助教 **西野 喜美子**



- ① 担当科目 : 臨床栄養学 栄養アセスメント概論 学修基礎
- ② 出身学校 : 同志社女子大学大学院食物栄養科学専攻
- ③ 学 位 : 食物栄養科学修士
- ④ 所属学会 : 日本静脈経腸栄養学会 病態栄養学会 糖尿病学会
日本臨床栄養学会 他
- ⑤ E-mail : k-nisino@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇論文：分割摂取が肥満による代謝異常に及ぼす多面的効果（糖尿病第 56 巻第 11 号）
- ◇2 型糖尿病患者における飲酒と栄養摂取および各種パラメータの比較（検討金沢学院短期大学紀要 Vol.27 2014）
- ◇2 型糖尿病の栄養食事療法と QOL について学会報告
- ◇栄養管理加算システムにおける栄養アセスメントについて学会報告
- ◇内臓脂肪蓄積型肥満と生活習慣病学会報告 ◇1 型糖尿病サマーキャンプ栄養教育

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①生活習慣病の栄養教育②肥満症の行動変容③糖尿病の栄養管理

金沢学院大学 基礎教育機構

機構長 小松 洋一

教授	准教授	講師	助教
岡田 政則 笠間 弘美 小松 洋一 高田 伸彦 中町 力 (中島 彰史)	佐々木圭一 武村 敏幸 中村 直行	春名 亮 山岸由美子 林 文慧 (坂東 貴夫)	中川恵理子

()は文学部専任教員

〈五十音順〉

(Youichi Komatsu)

教授 **小松 洋一**



- ① 担当科目 : 倫理学 ドイツ語Ⅲ・Ⅳ
- ② 出身学校 : 大阪大学大学院文学研究科博士課程哲学哲学史専攻
- ③ 学 位 : 文学修士
- ④ 所属学会 : 日本哲学会 比較思想学会 関西哲学会
- ⑤ E-mail : komatsu@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇著書・論文: R. A. マックリール「ディルタイ」(法政大学出版局 1993年発行)の第3部を翻訳 「哲学入門哲学基本事典」(富士書店 1992年発行)で「解釈学」の章を担当 「三木清における実践哲学としての歴史哲学の試み」(金沢学院大学紀要第4号 2006年) 「待つということについての若干の考察」(金沢学院大学紀要第6号 2008年) 「青年期三木清における人間学の探究」(金沢学院大学紀要第9号 2011年) 「三木清の処女作推敲に関する報告」(金沢学院大学紀要第10号 2012年) 「昭和14年刊行の哲学書に関する覚え書き」(金沢学院大学紀要第11号 2013年) ◇学会発表: 「ディルタイにおける生と認識」日本宗教学会第46回大会 「ディルタイの生の世界観と類型論」大阪カント・アーベント第14回研究会 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①事実としての歴史と歴史記述との関係 ②ことばの表現と想像力との関係 ③現代社会におけるコミュニケーションの成立

(Masanori Okada)

教授 **岡田 政則** 経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : コンピュータ基礎演習Ⅰ・Ⅱ データベース演習Ⅰ・Ⅱ プログラミングⅡ
- ② 出身学校 : 北陸先端科学技術大学院大学
- ③ 学 位 : 博士(情報科学)
- ④ 所属学会 : 情報処理学会
- ⑤ E-mail : okada@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇報償システム(2009-2014)学生支援推進プログラム最終報告、平成28年3月、金沢学院大学紀要14号

◇ノートテイキングの継続性とその意味づけ、平成26年9月、教育システム情報学会第39回研究大会

◇創造性増進カリキュラムーその効果分析、平成25年9月、教育システム情報学会第38回研究大会

◇創造性増進カリキュラムとその予備実験、平成24年10月、日本創造学会第34回研究大会予稿集

◇Educational environments that incentivize experience、平成23年10月、KICSS201

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

学生の創造性開発と解析

(Hiromi Kasama)

教授 **笠間 弘美**



- ① 担当科目 : 英語 I・II ビジネス英語 I・II 教養ゼミ 学修基礎 I・II
演習 英米文学 B
- ② 出身学校 : 龍谷大学
- ③ 学 位 : MATESL
- ④ 所属学会 : 日本マンスフィールド協会 大学英語教育学会 日本英語教育史
学会 日本ニュージャーナリスト学会
- ⑤ E-mail : kasama@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『マンスフィールド事典』(共著)文化書房博文社 2007年10月 ◇「キャサリン・マンスフィールドの「前奏曲」と「入江のほとり」で使われる基本色彩語に関する比較考察」『金沢学院大学紀要』文学・美術・社会学編 第11号 2013年3月 ◇「マンスフィールドの‘Prelude’における文体分析:「with句(構文)」の用法に焦点を当てて」『金沢学院大学紀要』文学・美術・社会学編 第9号 2011年3月 ◇「マンスフィールドの短編における文体―with句(構文)の用法に焦点を当てて―」『マンスフィールド研究』第8号 日本マンスフィールド協会 2009年10月 ◇「コーパス処理による基本色彩語分析に見るマンスフィールド作品の特徴-マンスフィールド研究とコーパスの利用に関する一考察-」『金沢学院大学紀要』文学・美術・社会学編第6号 2008年3月 ◇「“The Wind Blows”におけるキャサリン・マンスフィールドの文体-コーパス処理に基づくテキスト構成語彙分析を加えて-」同上第5号 2007年3月 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①コーパス処理に基づく文学作品の文体研究 ②経済英語・貿易英語 ③語彙、語法からみた英語教科書の国際比較

(Nobuhiko Takada)

教授 **高田 伸彦** 経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : コンピュータネットワーク演習 I・II コンピュータネットワーク論 他
- ② 出身学校 : 名古屋大学
- ③ 学 位 : 工学士
- ④ 所属学会 : 電子情報通信学会 情報処理学会 教育システム情報学
会 芸術科学会
- ⑤ E-mail : ntakada@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇Nobuhiko Takada, Issei Yoshida, Ryoichi Yanagisawa, Masami Suzuki, The Evaluation of Applying our Developed Haiku Application to Liberal Arts Students, Site2014 (AACE), 査読有, vol1.1, pp1-6, 2014 ◇高田伸彦, 吉田一誠, 鈴木雅実, 柳澤良一, 日本文学科の学生による俳句創作活動の嗜好評価, 教育システム情報学会, 査読無, Vol.29, no2., 2014 ◇Nobuhiko Takada, Issei Yoshida, Ryoichi Yanagisawa, Masami Suzuki, The Development of The Haiku Application Corresponding to Specification Changes and its Evaluation, ICSLE2014, 査読有, vol1, pp1-4, 2014 ◇高田伸彦, 吉田一誠, 鈴木雅実, 柳澤良一, 浅見健司, Android OS のバージョンアップに対応できる俳句アプリケーションの改良, 教育システム情報学会, 査読無, Vol.28, no2., pp47-54. 2013 ◇高田伸彦, 吉田一誠, 鈴木雅実, 柳澤良一, Android OS のバージョンアップに影響を受けにくいアプリケーションの開発方法, 教育システム情報学会, 査読無, Vol.27, no5. pp141-146, 2013

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

携帯情報端末での句活動のアプリケーション開発と実用化実験

(Riki Nakamachi)

教授 **中町 力**



- ① 担当科目 : 学修基礎Ⅰ・Ⅱ 自然造形論Ⅰ・Ⅱ 素材科学 美術と社
- ② 出身学校 : 金沢美術工芸大学
- ③ 学 位 : 芸術学修士
- ④ 所属学会 : 日展会員 石川県美術文化協会理事 日本美術家連盟
会員 青塔社会員 京都日本画家協会会員
- ⑤ E-mail : riki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「埠頭」日展初入選 1987 以後「エアポート」「HONGKONG'90」「Brooklyn Bridge」「NEW YORK'97」「BROADWAY」「Brooklyn」等 ◇「サンフランシスコ」現代美術展 美術文化大賞 1996 ◇「8番街」日春展日春賞 1996 ◇「暮」日春展奨励賞 1997 ◇「PINE STREET」日春展奨励賞 2002 ◇「FromTheBus・NewYork」日春展奨励賞 2003 ◇「Lex.Avenue」日展 特選 2000 ◇「STAZIONE」日展無鑑査 2001 ◇「MONTPARNASSE」日展 特選 2003 ◇「闘牛場の見える街」日展 出品委嘱 2006 ◇「TOKYO STATION」日展審査員出品 2007 ◇金沢市文化活動賞受賞 2008 ◇「THE BRONX」日展会員賞 2011 ◇紺綬褒章 2013

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①ニューヨークなどの都会、特に現代建築を題材にした風景画 ②古典的花鳥画、特に「椿」を題材にした作品の制作

(Keiichi Sasaki)

准教授 **佐々木 圭一**



- ① 担当科目 : 会 卒業研究 自然科学概論Ⅰ・Ⅱ 自然地理学概説Ⅰ・Ⅱ
- ② 出身学校 : 金沢大学
- ③ 学 位 : 博士(理学) [金沢大学]
- ④ 所属学会 : 日本地質学会 日本第四紀学会 日本サンゴ礁学会
- ⑤ E-mail : sasak1@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇炭素・酸素同位体組成に基づく地表露出面から復元する約 62~52 ka の海水準変動(2013) 共著 地質学雑誌 v. 119, p. 155-170
◇²³⁰Th/²³⁴U and ¹⁴C dating of a lowstand coral reef beneath the insular shelf off Irabu Island, Ryukyus, southwestern Japan(2006) 共著 Island Arc v. 15, p. 455-467
◇Interstadial coral reef terraces and relative sea-level changes during the marine isotope stages 3-4 at Kikai Island, central Ryukyus, Japan. (2004) 共著 Quat. Int., v. 120, p. 51-64

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①南西諸島喜界島における完新世サンゴ礁段丘の形成過程 ②琉球列島のサンゴ礁堆積物からみた後期更新世以降の海水準変動 ③放射性同位体を用いた物質循環に関する研究 ④小笠原硫黄島の地形・地質発達史

(Toshiyuki Takemura)

准教授 **武村 敏幸**



- ① 担当科目 : 法学 I 法学(日本国憲法) 知的所有権法 知的所有権論 日本国憲法 民法 法と社会
- ② 出身学校 : 金沢大学法文学部大学院法学研究科修士課程
- ③ 学 位 : 法学修士
- ④ 所属学会 : 比較法学会 日本公法学会
- ⑤ E-mail : takemura@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

大学の「紀要」に論文を投稿している。また、一般社会人の方を対象とした「公開講座」も2回担当した。著書については、共著がいくつかあるが、個人名義の単著はないので、今後、講義ノートをもとめた本を出版できればと考えている。

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

専攻である憲法に関する今日的諸問題を、最新のデータを基にして検討しているが、ここ最近は、ネットワーク社会の明と暗および知的財産の国際的問題あるいはスポーツ分野の法的動向を主な研究テーマとしている。

(Naoyuki Nakamura)

准教授 **中村 直行** 経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : 哲学 I・II 情報論理特論 社会科学の考え方 演習 基礎演習 情報活用演習 I・II コンピュータ活用演習 情報処理演習
- ② 出身学校 : 金沢大学大学院
- ③ 学 位 : 博士(文学)
- ④ 所属学会 : 日本科学哲学会 応用哲学会 中部哲学会
- ⑤ E-mail : nao-naka@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇(単著・著作:2015)『沈黙と無言の哲学—〈語りえぬもの〉の語りなさを語る—』大学教育出版 ISBN4864293260)、2015年4月20日◇(単著・論文:2016)「〈夢の使用〉と〈夢への言及〉」、金沢大学哲学・人間学論叢、柴田正良教授退職記念号(第7号)pp.51-64、2016年3月◇(単著・論文:2016)「0人称の死」、金沢学院大学紀要、文学・美術・社会学編(第14号)pp.51-57、2016年3月◇(単著・論文:2015)「私は世界のどこにもいない—誰でもない私から安心立命の私へ」、金沢学院大学紀要、文学・美術・社会学編(第13号)pp.43-50、2015年3月◇(単著・論文:2014)「心と体の切っても切れない関係」、金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編(第12号)pp.43-7、2014年3月◇(単著・論文:2013)「「足の速い亀」の傍点オペレータ使用前に、引用符オペレータが要るのではないか?」金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編(第11号)pp.83-8、2013年3月◇(単著・論文:2012)「〈語り得ぬもの〉の語り得なさ」、金沢大学『哲学・人間学論叢』第3号◇(単著・招待論文:2011)「最小合理性とは—MINIMAL RATIONALITY(1986)とその後の進展—」、中部哲学会編『中部哲学会年報』42号◇(単著・論文:2011)「Gödelの第二不完全性定理の証明における背理法適用への批判」金沢大学『哲学・人間学論叢』第2号◇(単著・論文:2009)「現実的な合理性とは何か?—チャーニアク哲学の紹介—」、比較思想学会『比較思想研究』第35号別冊◇(共訳・訳本:2009)双書 現代哲学7『最小合理性』第1章・第2章(pp.3-76)「訳者解説」(pp.239-263)◇(博士論文:2006)「沈黙すべき語り得ぬものとは何か?—『論考』の峰と山脈を追いかけて—」◇(単著・論文:2005)「ウイトゲンシュタインはメタ言語を認めずに使用していたのか?」金沢大学大学院 社会環境科学研究科『社会環境研究』第10号◇(単著・論文:2002)「仮言命題等に関する提唱についての考察—Principia Mathematicaを超えて—」中部哲学会編『中部哲学会年報』第34号

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 『計算機のルネサンス』、論理空間と記憶

(Ryo Haruna)

講師 春名 亮



- ① 担当科目 : スポーツ統計学Ⅰ データ解析(基礎) 情報科学特論 コンピュータ基礎
演習Ⅰ・Ⅱ 情報活用演習 コンピュータ・ネットワーク
- ② 出身学校 : 大阪大学大学院
- ③ 学 位 : 博士 (情報科学)
- ④ 所属学会 : 日本経営工学会 日本経営システム学会 日本オペレー
ションズ・リサーチ学会 実践経営学会
- ⑤ E-mail : haruna@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇“FUZZY SHAPLEY VALUE BASED ON LINEAR SOLVABLE FORMULATION”, *ICIC Express Letters (An International Journal of Research and Surveys)*, Vol.10, Number 3 [accepted] (2016) [共著]
- ◇「非理工系学生のモデル化能力を高めるための取り組み」, 電子情報通信学会 2015年度第9回教育工学研究会発表報告 (発表内容は信学技報に掲載される [共著])
- ◇「個人の属性と対象の特性を考慮した選択のモデル化」, 第28回バイオメディカルファジィシステム学会年次大会講演論文集 pp.259-260 (2015) [共著]
- ◇“Finding Pareto Optimum Solution among Cost, Health Risk and Environmental Burden in Recycling Cooking Oil”, *Proceedings of 2014 2nd International Conference on Technology, Informatics, Management, Engineering & Environment*, pp.15-18 (2014) [共著]
- ◇「環境負荷の定量化および製品寿命の長期化に関する費用の管理」, 金沢学院大学紀要(経営・経済・情報・自然科学編), 第12号, pp.1-5 (2014) [単著]
- ◇「加賀藩主御膳料理の復活による加賀料理のブランド化・発信プロジェクト」, 大学・地域連携アクティブフォーラム「地域課題研究ゼミナール支援事業」成果報告会 (2014)
- ◇「LCAにおける環境負荷の算出法の改善」, 第29回ファジィシステムシンポジウム講演論文集, pp.287-288 (2013) [共著]
- ◇「持続可能な開発における生産活動のマネジメント」, 金沢学院大学紀要(経営・経済・情報・自然科学編), 第11号, pp.11-17 (2013) [共著]
- ◇「エコにつながる生産活動」, 2012年度経営情報学部公開講座報告 (http://www2.kanazawa-gu.ac.jp/openlecture/H24/12_5.pdf)
- ◇“Evaluation of Middle and Long Term Management Efficiency of Public Museums by Network DEA”, *International Journal of Biomedical Soft Computing and Human Sciences*, vol.17, pp.11-17 (2012) [共著]
- ◇「経営工学のエッセンス」(第2章, 第4章後半, 付録A執筆担当), 朝倉書店 (2012)
- ◇「経営システム学への招待」(第11章1節), 日本評論社 (2011)
- ◇「公立美術館の施設運営管理における中長期的な効率性評価」, 金沢学院大学紀要(経営・経済・情報・自然科学編), 第9号, pp.83-91 (2011) [共著]

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①生産・販売活動における管理・計画の手法とその応用、統計教育の方法論

(Yumio Yamagishi)

講師 **山岸 由美子**



- ① 担当科目 : アドバンスト・イングリッシュ I・II 英語 I・II 学修基礎 I・II 教養ゼミ
- ② 出身学校 : 立教大学英米文学科
- ③ 学 位 : 文学士
- ④ 所属学会 :
- ⑤ E-mail : y-yamagi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 高等学校英語教材の研究とその指導法
- ② 大学における基礎科目としての英語教育の在り方を探る

(Wenhui Lin)

講師 **林 文慧**



- ① 担当科目 : 中国語 I・II・III・IV
- ② 出身学校 : 富山大学
- ③ 学 位 : 修士(経済学)
- ④ 所属学会 : 日本中国語学会 中国語教育学会 日本エスペラント学会
NPO 法人日本資源開発協会
- ⑤ E-mail : melin@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

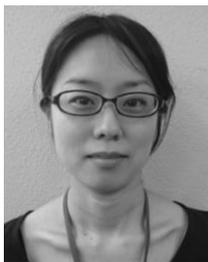
◇中国語「～ma」疑問句の答文への考察第 14 号 2016 金沢学院大学紀◇Miskompreno inter ambaux popoloj ĉina kaj japana---kauxzita de kulturo kaj vivkutimo 第 13 号 2015 金沢学院大学紀要◇有機肥料・牛糞堆肥(かんとりスーパー河北潟)と貝化石肥料の併用(共著) 89 卷 1 号 2014 農業および園芸, ◇やしい中国語基礎編 2014 好文社 ◇中国語「句」の学習---日本語と英語と対照に 第 12 号 2014 金沢学院大学紀要 ◇三言両語 循序漸進 2013 好文社 ◇中国語の基本文型の学習---中国語・日本語・英語との比較を導入した指導法 第 11 号 2013 金沢学院大学紀要 ◇「ma」のない中国語疑問文の学習---英語の Wh-Questions と対照しながら 第 10 号 2012 金沢学院大学紀要◇中国語の修飾について(-日本語のとの比較) 第 35 号 2010 金城短大紀要 ◇茶文化の道へ(-喫茶普及における中国と日本の比較) 第 34 号 2009 ◇中国の「高考経済」について(-現代中国における教育改革の実態) 第 30 号 2006 ◇共訳 field Guide to the Documentation and Dwscription of OILED SHORELINES(Edward H.Owens and Gary A Sergy 1994 Environment Canada)2005.12 海洋工学研究所 ◇「XX 経済」という言葉のバブル現象第 29 号 2005 金城短大紀要 ◇中国の企業グループ(-その形成と育成策について)1992 .3 富山大学大学院経済論文集 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 中国語文構造の分析(日本語との比較) ② 実践中国語の速成法 ③ 日中経済文化の相違性

(Eriko Nakagawa)

助教 **中川 恵理子**



- ① 担当科目 : 図書館概論 情報サービス論 情報サービス演習 情報
資源組織論 情報資源組織演習 他
- ② 出身学校 : 武庫川女子大学文学部日本語日本文学科
- ③ 学 位 : 文学士
- ④ 所属学会 : なし
- ⑤ E-mail : e-naka@kanazawa-gu. ac. jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「金沢学院大学図書館ラーニングコモンズ活用実態について」
(金沢学院大学紀要 経営・経済・情報・自然科学編 第14号 2016年3月)
- ◇「金沢学院大学における司書資格取得希望学生の意識調査」
(金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編第13号 2015年3月)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 大学図書館の利用促進について ② 司書課程履修者のこれまでの図書館利用状況について

金沢学院短期大学

- 現代教養学科
- 食物栄養学科

金沢学院短期大学

学 長 川村 美笑子

副学長 河内 久美子

	教授	准教授	講師	助教
現代教養学科	國田千恵子 河内久美子 槻木 裕 益子 待也 ○松井 良雄	可部野和子 塚崎 玲子 R. W. カニンガム		
食物栄養学科	野村 孝弘 ○原田 澄子 諸岡 康哉	櫻井 千佳 水口富美江	加藤 礼子 森田 一雄	橋詰奈々世

○：学科長

(五十音順)

(Chieko Kunida)

教授 **國田 千恵子**



- ① 担当科目 : 事務管理 オフィス実務演習 日本語 I B 日本語表現
社会心理学 他
- ② 出身学校 : 金沢大学大学院教育学研究科修士課程
- ③ 学 位 : 教育学修士
- ④ 所属学会 : 日本教育心理学会 日本心理学会 日本ビジネス実務学
会 他
- ⑤ E-mail : kunida@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇共著：『ビジネスワークの基礎』吉田寛治編著 嵯峨野書院

◇共著：『K・P・Sシリーズ社会心理学』内山伊知郎編著 建帛社

◇著書(分担執筆) 『秘書学入門』(学陽書房 1995)

『K・P・Sシリーズ 7 社会心理学』(建帛社 1996) 『ビジネスワークの基礎』(嵯峨野書院 1998) ◇論文(共同研究) 「秘書の心理学資質と業務効率感の関連について」(日本ビジネス実務学会発行ビジネス実務集 No. 20 2002) (共同研究)「大学生の共感能力に関する研究」(金沢学院大学紀要 第4号 2006) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

キャリア教育、秘書・ビジネス実務関連

(Yutaka Tsukinoki)

教授 **槻木 裕** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 哲学 I・II 思想・哲学演習 道德教育論 日本語 I A
- ② 出身学校 : 金沢大学
- ③ 学 位 : 文学修士 (京都大学)
- ④ 所属学会 : 日本哲学会 日本科学哲学会 比較思想学会 他
- ⑤ E-mail : tsukinoki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇『文学でたどる浄土真宗のエステー問いかける仏、問いかける宗教』(探究社 2009年6月)
- ◇一元論的実在論のもとでの判断論一分岐点としてのF.H.ブラッドリーの哲学(『北陸宗教文化』第19号、2007年3月)
- ◇「空へと至る基本的“論理”と矛盾律」(『比較思想研究』第30号 2004年3月)
- ◇『現代の無我論—古典仏教と哲学』(晃洋書房 2003年10月)
- ◇「無我説と行為主体の問題—現代哲学の視点から—」(『比較思想研究』第25号 1999年3月)
- ◇『ゲーム理論の哲学—合理的行為と理性の狡智—』(M.ホリス)全訳(晃洋書房 1998年3月)
- ◇「カント倫理学と無心」(『比較思想研究』第24号 1998年3月) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

人間が行為・行動するさいの概念機構の研究。ここ何年かは仏教の空思想の解明を、概念機構のあり方の研究の一環として取り組んできた。現在はブラッドリーの観念論的一元論や西田幾多郎の一元論に興味がある。

(Machiya Mashiko)

教授 **益子 待也** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 日本民俗研究 文化人類学Ⅰ・Ⅱ 英米文化論Ⅰ・Ⅱ
文化人類学演習 行動文化特殊講義 民俗学Ⅰ・Ⅱ
- ② 出身学校 : 埼玉大学
- ③ 学 位 : 博士(文学)(筑波大学)
- ④ 所属学会 : 日本文化人類学会 日本民俗学会 加能民俗の会
- ⑤ E-mail : mashiko@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『文化人類学群像』[Ⅰ]〈外国編 ①〉共著 昭和60年5月 アカデミア出版会。 ◇『七尾市史・民俗編』共著 平成15年5月 北国新聞社出版局 編者:田川捷一。 ◇『民俗のことば』(現代民俗学の視点)第2巻 共著、関一敏編、1998年、朝倉書店(現代民俗学の視点)第2巻、東京、朝倉書店。 ◇『講座 世界の先住民民族 - ファースト・ピープルの現在 -』第7巻 北米 共著 平成17年2月 明石書店、綾部恒雄監修、富田虎男、スチュアート・ヘンリ編。 ◇「カナダ先住民芸術の歴史的展開と現代的課題 - 国立民族学博物館所蔵のイヌイットおよび北西海岸先住民の版画コレクションをとおして -」共著、平成27年、齋藤玲子編、国立民族学博物館。

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

民俗学と文化人類学、カラスの民俗学、片目伝承論、など

(Yoshio Matsui)

教授 **松井 良雄**



- ① 担当科目 : 情報処理基礎 自然科学入門 ビジネスソフト応用 ビジネス情報処理 卒業研究 他
- ② 出身学校 : 金沢大学大学院工学研究科機械工学専攻
- ③ 学 位 : 博士(工学)
- ④ 所属学会 : 日本機械学会 ターボ機械協会 日本生物環境工学会
日本設計工学会 日本混相流学会 他
- ⑤ E-mail : matsui@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇近紫外・青・緑色照射がマイタケ子実体に及ぼす影響, 日本生物環境工学会 2015年宮崎大会, 2015-9. ◇緑色域LED光源を用いた舞茸の生体電位応答と形態形成との関係, 日本生物環境工学会 2014年東京大会, 2014-9. ◇シャトルカードやクリッカーを活用した授業活性化に関する取り組みとその検証(第2報), 金沢学院短期大学紀要, 第12号, 2014-3, p.21-43. ◇短期大学生に向学心を芽生えさせる教育-ICT、モノづくり、自然科学、資格取得-, 日本生物環境工学会中部支部例会・講演会, 2013-12. ◇SMA(Speaking Mushroom Approach) Environmental Control System Development:Automated Cultivation Control System Characterization, The 2013 IFAC Bio-Robotics Conference, March 27-29, 2013, Sakai, Japan. ◇MRI 装置を用いたマイタケ培地内部における菌糸発達過程の3D表示の試み, 植物環境工学, 21巻, 4号, p.149-153, 2009-12. ◇金沢大学における機械系導入実習, 砥粒加工学会誌, 52巻, 9号, p.519-522, 2008-9. 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①LED光源を活用した茸類の栽培効率改善に関する研究 ②短期大学生の情報処理能力向上を目指した教育方法の検討 ③創造性を育むモノづくり&IT コラボ教育のシステム開発 ④科学の話題や数学・理科の基礎教育における授業活性化の取り組み

(Takahiro Nomura)

教授 **野村 孝弘**



- ① 担当科目 : 基礎栄養学
- ② 出身学校 : 金沢大学大学院医学研究科
- ③ 学 位 : 医学博士
- ④ 所属学会 : 日本癌学会 日本分子生物学会
- ⑤ E-mail : @kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇論文 Study on the physiological condition of female collegiate athletes in the Hokuriku region where situates at a heavy snowy area in Japan. 東京家政大学研究紀要, 54, 7-12 (2014). 夕食を分割摂取することが肥満による代謝異常に及ぼす多面的効果. 糖尿病, 56, 833-840 (2013). Molecular Medicine Report, 3, 121-125 (2010). Cancer Epidemiology, 33, 288-292 (2009). J. Clinical Biochem. and Nutrition, 43, 512-515 (2008). 日本調理科学会誌, 40, 166-172 (2007). Cancer Detection and Prevention, 30, 174-179 (2006). Current Genetics, 47, 359-367 (2005). Cancer Detection and Prevention, 29, 155-160 (2005). Molecular and Cellular Biology, 24, 8556-8566 (2004).

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①食品成分による腫瘍管理の可能性②癌転移制御のためのモデル細胞③細胞分化と脱癌化

(Sumiko Harada)

教授 **原田 澄子**



- ① 担当科目 : 調理学 調理学実習 応用調理学実習
- ② 出身学校 : 愛媛大学 農学修士
- ③ 学 位 : 家政学士 農学修士
- ④ 所属学会 : 日本栄養改善学会 日本調理科学学会
- ⑤ E-mail : harada@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇幼児の食事に関する調査研究

◇園児の食事作りの指導、児童への食生活指導や親子料理教室

◇富山県の日常食、行事食、郷土食に関する調査研究著書

◇小児栄養学総論、伝統食品・食文化 in 金沢ー加賀・能登・越中・永平寺ー食生活論、給食経営管理実習

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

日本調理科学会の特別研究の一環として「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理 富山県」

(Kosai Morooka)

教授 **諸岡 康哉**



- ① 担当科目 : 教育課程論 教育方法・技術論 教育実地研究 教育実習
I・II
- ② 出身学校 : 広島大学大学院教育学研究科博士課程単位修得満期退学
- ③ 学 位 : 教育学修士
- ④ 所属学会 : 日本教育方法学会
- ⑤ E-mail : morooka@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『特別活動の基礎と展開』共編著 平成11年3月 コレール社 ◇『人と生きる力を育てる』
共編著 平成18年6月 新読書社 ◇『現代教育方法辞典』共編著 平成16年10月 図書文化社

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他 授業指導論・幼児教育論

(Kazuko Kabeno)

准教授 **可部野 和子**



- ① 担当科目 : 衣生活論 アパレルデザイン実習II アパレルデザイン ファッションマーケ
ティング ファッショントレンドインク 共生社会実習C 卒業研究 他
- ② 出身学校 : 東京家政学院大学大学院人間生活学研究所
- ③ 学 位 : 人間生活学修士
- ④ 所属学会 : 日本家政学会 繊維製品消費科学会 繊維学会 日本色
彩学会
- ⑤ E-mail : kkazu@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇子育て環境と色彩景観-金沢を事例として-、◇地域生活文化と連携した教育方法改善に関する
研究◇地場産業と連携した短期大学における教育に関する研究

◇学会発表:「子育て環境と色彩景観—金沢を事例として—」(共著 日本色彩学会 第40回全国
大会 2009) 「THE RESEARCH OF A JUNIOR COLLEGES EDUCATION IN COOPERATION WITH INDUSTRIES
III」(共著 ASIAN REGIONAL ASSOCIATION FOR HOME ECONOMICS 2006) 「地域生活文化と連携した
教育方法改善に関する研究I」(共著 第57回日本家政学会年次大会 2006) 「Breast
oscillating characteristics and their effects on the problems of yukata loosening or
slackening」(共著 INTERNATIONAL FEDERATION FOR HOME ECONOMICS 2004) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

新しい世代のファッション消費を探るため、ファッションに興味を持った短期大学生のファッ
ション商品購入に関するアンケートを実施した。「おしゃれ」の基準と価値観が変わってきている
近年の問題を把握・検証し、さらに、北陸の特徴を捉えることを目的とする。

(Reiko Tsukasaki)

准教授 塚崎 玲子



- ① 担当科目 : 基礎演習 英語 I C・II C 英米文学 A 英語 I・II
学修基礎 I・II 教養ゼミ
- ② 出身学校 : 富山大学
- ③ 学 位 : 文学修士 (奈良女子大学)
- ④ 所属学会 : 日本英文学会 日本フランス語フランス文学会 奈良女
子大学英語英米文学会
- ⑤ E-mail : tukasaki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「『嵐が丘』の舞台裏—大農家としての風景—」日本英文学会『英文学研究』支部統合号第一巻 2009.1 ◇「ヒースクリフはなぜジプシーなのか—『嵐が丘』に潜む歴史的背景—」『文学と女性』英宝社 2000.11 ◇“Word Frequency in the Poems of Emily Brontë”(Brontë Society Transactions Volume25, part2. Maney Publishing, Leeds. October2000) ◇「キャサリン・アーンショーの『秘密』」『エミリ・ブロンテ論』開文社出版 1998.10 ◇Wuthering Heights における空白期間についての考察」日本英文学会中部支部『中部英文学』第15号 1996.3 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

Wuthering Heights を理解するのに必要な、歴史的・文化的背景の掘り起こしを行っている。

(Cunningham Robert Wesley)

准教授 R. W. カニングム



- ① 担当科目 : 海外文化と外国語 I・II 異文化間コミュニケーション ビジネス英
語 英語 I A・II A 他
- ② 出身学校 : Wittenberg University
- ③ 学 位 : 文学士: 心理学、東アジア研究
- ④ 所属学会 : ETJ (English Teachers in Japan)
- ⑤ E-mail : wes@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇論文: 「Game-theory and Activities that Students Can't Resist」(ムードルムート 2010 函館未来大学) ◇「Audio-visual display of sentences for teaching reduced forms in spoken English」(金沢学院短期大学紀要 51 号 2010) ◇「Technology Infusion into the EFL Classroom: Digital Video Recording of Student Performances for Feedback and Evaluation in English Conversation Classes.」(金沢学院短期大学紀要 45 号 2004) 他 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

Technology in English as a Foreign Language Instruction: Appropriate use and development of digital media, Moodle and other emerging technologies to enhance the EFL learning experience among Japanese college students.

(Cika Sakurai)

准教授 **櫻井 千佳**



- ① 担当科目 : 栄養指導論 I・II 栄養指導論実習
- ② 出身学校 : 同志社女子大学
- ③ 学 位 : 家政学士
- ④ 所属学会 : 糖尿病学会 静脈経腸学会 肥満学会 アメリカ静脈経腸学会
- ⑤ E-mail : c-sakurai@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇学術論文 高齢者の栄養管理-NSTの現状と課題- 癌患者とNST Geriatric Medicine44(7):967-971 (2006) 共著. ◇著書 (分担執筆) 日本糖尿病学会編糖尿病の療養指導 2006 (診断と治療社 2006)、今日の病態栄養療法 2版(南江堂 2008)、金沢大学附属病院 Team DiET 式 ランチョンマット法満腹ダイエットレシピ (北國新聞社 2008)、糖尿病最近の治療 2010-2012 (南江堂 2010) 金沢大学附属病院 Team DiET おでかけランチョンマット法ハッピーお弁当レシピ (北國新聞社 2010) 糖尿病チーム医療の教科書 (メジカルビュー社 2010) 日本静脈経腸栄養学会静脈経腸栄養ハンドブック (南江堂 2011) ◇学会発表スマートフォンアプリによる糖尿病管理に関するアンケート調査報告 (第58回日本糖尿病学会年次学術集会)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①病態栄養②がんと栄養③在宅栄養④食教育⑤食生活の評価

(Fumie Mizuguti)

准教授 **水口 富美江**



- 給食管理論 給食経営管理実習 I・II・III 学校栄養教育
- ① 担当科目 : 論 教育実習指導 (事前・事後指導) 栄養教育実習 食と健康
- ② 出身学校 : 金沢大学
- ③ 学 位 : 教育学修士
- ④ 所属学会 : 日本栄養改善学会 日本給食経営管理学会
- ⑤ E-mail : mizuguti@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇修士論文「おからフリー豆腐の製造およびその成分特性に関する研究」 ◇学会発表「児童の食物嗜好 (好き嫌い) と家庭における食事に関するお手伝い行動の関連性について」 (北陸栄養改善学会) ◇災害時に対応する食糧の備蓄に取り組む管理栄養士の役割 (学会誌実践報告)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①小学生と中学生の「食と生活」の実態調査をし、その結果を解析する。②保育園児の嗜好について入園時の年齢による違いを考察する。③校内実習における衛生管理の教育方法の検討

(Reiko Kato)

講師 **加藤 礼子**



- ① 担当科目 : 教育心理学 教育相談
- ② 出身学校 : 東京都立大学 金沢大学大学院
- ③ 学 位 : 教育学修士
- ④ 所属学会 : 日本教育心理学会 北陸心理学会
- ⑤ E-mail : Kato-r@kanazawa-gu. ac. jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「青年期におけるかわいそう感と共感性—「かわいそう」はよくないのか—」(『金城大学短期大学部紀要』第38号、2014年)
- ◇「大学生の迷惑感に関する分析—個人特性と集団内の雰囲気等との関係—」(『金城大学短期大学部紀要』第35号、2011年)
- ◇「現代青年の自立性に関する研究—自立性尺度作成の試み—」(共著)(『北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部研究紀要』第2号、2010年)
- ◇「女子青年の就業動機に関する分析(2)—効力感、言語化力、周囲からの圧力との関係—」(共著)(『北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部研究紀要』第1号、2009年) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①共感性の発達・表出の問題について②成人期女性の発達③子育て支援

(Kazuo Morita)

講師 **森田 一雄**



- ① 担当科目 : スポーツ科学Ⅱ 体育実技
- ② 出身学校 : 大阪教育大学
- ③ 学 位 : 教育学士
- ④ 所属学会 :
- ⑤ E-mail : k-morita@kanazawa-gu. ac. jp

I. 主な研究業績・作品等

体育教師 ソフトボール部監督

昭和52年～平成2年 滋賀県立大津商業高校勤務

昭和59年 秋田総体(32) 平成元年 徳島総体(8)

昭和63年 全国選抜(16) 昭和58年 群馬国体(8) 少年女子滋賀選抜

平成4年～平成13年 滋賀女子高校勤務

平成10年 香川総体(32)

平成8年 全国選抜(1回戦負け) 平成13年全国選抜(32)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

ソフトボール道の追求

(Nanase Hashizume)

助教 **橋詰 奈々世**



- ① 担当科目 : 調理科学実験 食と社会 ライフプランニング 応用調理学実習
① 出身学校 : 金沢学院短期大学専攻科食物栄養専攻
② 学 位 : 学士 (栄養学)
③ 所属学会 : 調理科学会 日本栄養改善学会 日本食生活学会
④ E-mail : hashizume@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇ 論文

「ソバ蒸しパンの性状および抗酸化性とグルテン添加量の影響」日本調理科学会誌, Vol.44, No.1, 55～63

◇ 学会発表

「Study on beneficial function of saccharified solution from miscellaneous cereals」International Conference on Food Factors 2011 「雑穀類の新たな利用法を目指して調製した各種雑穀糖化液の基礎特性」日本調理科学会 平成26年度大会 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

雑穀由来糖化液の基礎特性ならびに加工利用法の検討

専任教員索引 (五十音順)

◆所属学部 文学部：文学 経営情報学部：経情 芸術学部：芸術
人間健康学部：人間健康 基礎教育機構：基礎 短期大学：短大

氏名	所属学部	頁	氏名	所属学部	頁	氏名	所属学部	頁
秋山 稔	文学	1	水洞 幸夫	文学	9	平下 政美	人間健康	42
阿手 雅博	経情	2	高木 香代子	人間健康	48	廣根 礼子	芸術	36
荒川 昭広	芸術	34	高田 伸彦	基礎	53	深堀 遼太郎	経情	28
飯田 栄治	芸術	31	高橋 啓	経情	24	福井 卓也	人間健康	46
石川 温	経情	22	田邊 正彰	文学	10	福田 裕一	経情	28
石崎 建治	文学	9	武村 敏幸	基礎	55	福本 俊樹	経情	29
石村 宇佐一	人間健康	40	竹村 裕樹	経情	25	藤原 勝夫	人間健康	39
市島 桜魚	芸術	31	田中 晴人	経情	22	棒田 邦夫	芸術	33
井手 秀樹	経情	23	塚崎 玲子	短大	65	前川 浩子	文学	16
伊藤 俊輔	人間健康	49	槻木 裕	短大	61	益子 待也	短大	62
井篁 敬	人間健康	40	寺田 達也	文学	14	松井 良雄	短大	62
岩田 恵美子	人間健康	49	寺田 智美	文学	15	丸山 章子	人間健康	46
大滝 宏一	文学	17	外山 寛	人間健康	41	水口 富美江	短大	66
大野 尚弘	経情	26	中川 恵理子	基礎	58	見瀬 和雄	文学	12
岡田 政則	基礎	52	中崎 崇志	文学	15	宮本 恵美	人間健康	44
奥井 めぐみ	経情	23	中島 彰史	文学	11	村谷 聡志	芸術	36
加来 奈奈	文学	17	中町 力	基礎	54	森 浩一	経情	26
笠間 弘美	基礎	53	中村 晋也	文学	16	森田 一雄	短大	67
加藤 礼子	短大	67	中村 直行	基礎	55	森本 哲介	文学	19
可部野 和子	短大	64	七尾 由美子	人間健康	47	諸岡 康哉	短大	64
川村 美笑子	人間健康	5	西川 友之	人間健康	4	柳澤 良一	文学	13
工藤 義信	文学	18	西田 伸一	芸術	32	矢野 俊博	人間健康	45
國田千恵子	短大	61	西野 喜美子	人間健康	50	山岸 由美子	基礎	57
桑野 裕昭	経情	24	丹羽 俊夫	芸術	32	山崎 達文	芸術	3
河内 久美子	短大	6	根本 博	経情	25	山脇 あゆみ	人間健康	48
越田 久文	芸術	34	野村 孝弘	短大	63	吉田 一誠	芸術	37
児島 新太郎	芸術	35	橋詰 奈々世	短大	68	米澤 順一	経情	29
小嶋 芳孝	文学	10	羽場 文彦	芸術	35	米澤 正雄	文学	12
小谷 学	経情	27	馬場先 恵子	文学	11	R.グラッシ	文学	20
小林 淳一	文学	13	林 直之	人間健康	44	R.Miyoshi	文学	19
小松 洋一	基礎	52	原田 澄子	短大	63	林 文慧	基礎	57
酒井 亨	経情	27	春名 亮	基礎	56	R.W.カニンガム	短大	65
櫻井 千佳	短大	66	坂東 貴夫	文学	18	渡邊 琢夫	人間健康	45
桜田 惣太郎	人間健康	43	平井 敦夫	人間健康	42	渡辺 直勇	人間健康	47
佐々木 圭一	基礎	54	平木 孝志	芸術	33	渡辺 涼子	人間健康	43
蒨 際子	文学	14						